

大学番号 013

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 研究科の設置

注1

事前伺い

山形大学大学院 社会文化創造研究科

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人山形大学
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部企画IR課

職名・氏名 カチョウ カワタマサユキ
課長・川田正之

電話番号 023-628-4190

（夜間） 023-628-4190

e-mail kikadai@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

山形大学大学院

＜社会文化創造研究科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	34
7. その他全般的事項	37

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人山形大学

(2) 大学名

山形大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒990-8560

山形県山形市小白川町一丁目4番12号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	※該当なし		
学長	(タマテ ヒデトシ) 玉手 英利 (令和2年4月)		
研究科長	(コレカワ ハルヒコ) 是川 晴彦 (令和3年4月)		
学科長等	※該当なし		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)
令和3年度に報告する内容 → (3)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
社会文化創造 研究科 修士（文学） 修士（政策科学） 修士（臨床心理学） 修士（学術）	文学関係 法学関係 経済学関係 美術関係 音楽関係 体育関係	年 2	人 24	年次 人	人 48		基礎となる学部 人文社会科学部 地域教育文化学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和3年度		令和4年度								平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 24 (-) [-]	人	人	人	人	人	人	人	人	人	1.04倍	倍	
志願者数	49 (-) [18]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
受験者数	48 (-) [17]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
合格者数	28 (-) [9]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
B 入学者数	25 (-) [8]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
入学定員超過率 B/A	1.04												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	令和3年度		令和4年度								備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	25 [8] (0)	0 [0] (0)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2 年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3 年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4 年次	/		/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	25 [8] (0)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和3年度	25 人	0 人	令和3年度	0 人	0 人	
令和4年度	人	人	令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
人	人		人	人		
			人	人		
			人	人		
人	人		人	人		
			人	人		
			人	人		
			人	人		
人	人		人	人		
			人	人		
			人	人		
			人	人		
			人	人		
合 計		0 人		人	人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{25} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任 手 担
			必修	選択	自由	准教授	講師	助教	助手	
	マクロ経済学特別演習	1後	2			1				
	公共政策学特別演習	1後	2			1				
	法哲学特別演習	1後	2			1				
	計量社会学特別演習	1後	2		1					
	家族社会学特別演習	1後	2		1					
	環境地理学特別演習	1後	2		1					
	都市計画特別演習	1後	2		1					
	地域政策学特別演習	1後	2			1				
	環境経済学特別演習	1後	2			1				
	公共システム特別演習	2前	2		9	8	4			
	企業経営論特論	1前	2				1			
	比較会計学特論	1前	2		1					
	株式会社論特論	1前	2		1					
	計量経済学特論	1前	2		1					
	ゲーム理論特論	1前	2		1					
	経営情報特論	1前	2			1				
	マーケティング論特論	1前	2			1				
	中小企業論特論	1前	2			1				
	民法特論A	1前	2		1					
	民法特論B	1前	2		1					
	雇用関係法特論	1前	2		1					1
	商法特論	1前	2		1					
	企業経営論特別演習	1後	2				1			
	比較会計学特別演習	1後	2		1					
	株式会社論特別演習	1後	2		1					
	計量経済学特別演習	1後	2		1					
	ゲーム理論特別演習	1後	2		1					
	経営情報特別演習	1後	2			1				
	マーケティング論特別演習	1後	2			1				
	中小企業論特別演習	1後	2			1				
	民法特別演習A	1後	2		1					
	民法特別演習B	1後	2		1					
	雇用関係法特別演習	1後	2		1					1
	商法特別演習	1後	2		1					
	企業システム特別演習	2前	2		8	3	1			
	国際政治特論	1前	2		1					
	グローバル・ガバナンス論特論	1前	2		1					
	国際法特論	1前	2		1					
	現代中国政治特論	1前	2		1					
	国際取引法特論	1前	2		1					
	国際金融論特論	1前	2		1					
	国際経済論特論	1前	2			1				
	国際政治特別演習	1後	2		1					
	グローバル・ガバナンス論特別演習	1後	2		1					
	国際法特別演習	1後	2		1					
	現代中国政治特別演習	1後	2		1					
	国際取引法特別演習	1後	2		1					
	国際金融論特別演習	1後	2		1					
	国際経済論特別演習	1後	2			1				
	国際システム特別演習	2前	2		3	3	1			
	公共システム特別研究Ⅰ	1前・後	4		9	6				
	公共システム特別研究Ⅱ	2前・後	4		9	6				
	企業システム特別研究Ⅰ	1前・後	4		8	3				
	企業システム特別研究Ⅱ	2前・後	4		8	3				
	国際システム特別研究Ⅰ	1前・後	4		3	2				
	国際システム特別研究Ⅱ	2前・後	4		3	2				
	小計(85科目)	—	0	182	0	20	14	4	0	0
臨床心理学コース	臨床心理学特論A	1前	2		1					
	臨床心理学特論B	1後	2		1					
	臨床心理学面接特論A(心理支援に関する理論と実践)	1前	2			1				
	臨床心理学面接特論B	1後	2		1					
	臨床心理学査定演習A(心理的アセスメントに関する理論と実践)	1前	2			1				
	臨床心理学査定演習B	1後	2		1					
	臨床心理学基礎実習	1通	2		1	1	1			
	臨床心理実習A(心理実践実習A)	2通	4		2					1
	臨床心理実習B	2通	1		2					1
	A群	心理学特別演習(統計)	1前	2						
B群	心理学研究法特論	1前	2		1					
	発達心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	1後	2			1				
	教育心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	1後	2			1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任 手 担
			必修	選択	自由	准教授	講師	助教	助手	
	マクロ経済学特別演習	1後	2			1				
	公共政策学特別演習	1後	2			1				
	法哲学特別演習	1後	2			1				
	計量社会学特別演習	1後	2		1					
	家族社会学特別演習	1後	2		1					
	環境地理学特別演習	1後	2		1					
	都市計画特別演習	1後	2		1					
	地域政策学特別演習	1後	2			1				
	環境経済学特別演習	1後	2			1				
	公共システム特別演習	2前	2		10	7	2			
	企業経営論特論	1前	2				1			
	比較会計学特論	1前	2		1					
	株式会社論特論	1前	2		1					
	計量経済学特論	1前	2		1					
	ゲーム理論特論	1前	2		1					
	経営情報特論	1前	2			1				
	マーケティング論特論	1前	2			1				
	中小企業論特論	1前	2			1				
	民法特論A	1前	2		1					
	民法特論B	1前	2		1					
	雇用関係法特論	1前	2		1					1
	商法特論	1前	2		1					
	企業経営論特別演習	1後	2				1			
	比較会計学特別演習	1後	2		1					
	株式会社論特別演習	1後	2		1					
	計量経済学特別演習	1後	2		1					
	ゲーム理論特別演習	1後	2		1					
	経営情報特別演習	1後	2			1				
	マーケティング論特別演習	1後	2			1				
	中小企業論特別演習	1後	2			1				
	民法特別演習A	1後	2		1					
	民法特別演習B	1後	2		1					
	雇用関係法特別演習	1後	2		1					1
	商法特別演習	1後	2		1					
	企業システム特別演習	2前	2		7	4				
	国際政治特論	1前	2		1					
	グローバル・ガバナンス論特論	1前	2		1					
	国際法特論	1前	2		1					
	現代中国政治特論	1前	2		1					
	国際取引法特論	1前	2		1					
	国際金融論特論	1前	2		1					
	国際経済論特論	1前	2			1				
	国際政治特別演習	1後	2		1					
	グローバル・ガバナンス論特別演習	1後	2		1					
	国際法特別演習	1後	2		1					
	現代中国政治特別演習	1後	2		1					
	国際取引法特別演習	1後	2		1					
	国際金融論特別演習	1後	2		1					
	国際経済論特別演習	1後	2			1				
	国際システム特別演習	2前	2		3	3	1			
	公共システム特別研究Ⅰ	1前・後	4		10	5				
	公共システム特別研究Ⅱ	2前・後	4		10	5				
	企業システム特別研究Ⅰ	1前・後	4		7	4				
	企業システム特別研究Ⅱ	2前・後	4		7	4				
	国際システム特別研究Ⅰ	1前・後	4		3	2				
	国際システム特別研究Ⅱ	2前・後	4		3	2				
	小計(87科目)	—	0	186	0	20	14	3	0	3
臨床心理学コース	臨床心理学特論A	1前	2		1					
	臨床心理学特論B	1後	2		1					
	臨床心理学面接特論A(心理支援に関する理論と実践)	1前	2			1				
	臨床心理学面接特論B	1後	2		1					
	臨床心理学査定演習A(心理的アセスメントに関する理論と実践)	1前	2			1				
	臨床心理学査定演習B	1後	2		1					
	臨床心理学基礎実習	1通	2		1	1	1			
	臨床心理実習A(心理実践実習A)	2通	4		2					1
	臨床心理実習B	2通	1		2					1
	A群	心理学特別演習(統計)	1前	2						
B群	心理学研究法特論	1前	2		1					
	発達心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	1後	2			1				
	教育心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	1後	2			1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	教	准	講	助	助		
	美術教育学特別演習	1後	2	1							
	絵画表現特別演習	1前	2	1							
	彫刻表現特別演習	1前	2	1							
	美術史特別演習	1後	2	1							
	平面造形特別演習	1後	2	1							
	立体造形特別演習	1後	2	1							
	デザイン表現特別演習	1後	2							1	
	造形芸術特別研究Ⅰ	1前・後	4	2							
	造形芸術特別研究Ⅱ	2前・後	4	2							
	小計(16科目)	—	0	35	0	2	1	0	0	0	2
	合計(287科目)	—	4	602	0	52	40	7	0	0	53

卒業要件及び履修方法

修士課程に2年以上在学し、30単位以上(臨床心理学コースに関しては39単位以上)を習得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文または特定の課題についての研究成果の審査及び最終試験に合格することとする。各コースにおける履修方法は、以下のとおりである。

【社会文化システムコース】
基礎教育科目から2単位(必修科目)、基礎専門科目から2単位以上(選択必修科目)、研究科共通科目から2単位(必修科目)、高度専門科目から24単位以上(選択必修科目・教育プログラムから特論4単位・特別演習4単位・特別研究8単位、所属コースで開講される授業科目から4単位及び本研究科で開講される授業科目から4単位を含むこと)を修得し、30単位以上修得すること。

【臨床心理学コース】
基礎教育科目から2単位(必修科目)、基礎専門科目から2単位以上(選択必修科目)、研究科共通科目から2単位(必修科目)、高度専門科目から33単位以上(選択必修科目・臨床心理学に関する必修科目19単位、A・B・C・D・Eの5つの科目群からそれぞれ2単位ずつの計10単位及び課題研究4単位を含むこと)を修得し、39単位以上修得すること。

【芸術・スポーツ科学コース】
基礎教育科目から2単位(必修科目)、基礎専門科目から2単位以上(選択必修科目)、研究科共通科目から2単位(必修科目)、高度専門科目から24単位以上(選択必修科目・教育プログラムから「文化コーディネーター実習」2単位を含む12単位(音楽芸術プログラムにおいては地域音楽活動実践特論2単位及び地域音楽活動実践特別演習2単位を含むこと)、特別研究8単位及び本研究科で開講される授業科目から4単位を含むこと)を修得し、30単位以上修得すること。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	教	准	講	助	助		
	美術教育学特別演習	1後	2	1							
	絵画表現特別演習	1前	2	1							
	彫刻表現特別演習	1前	2	1							
	美術史特別演習	1後	2	1							
	平面造形特別演習	1後	2	1							
	立体造形特別演習	1後	2	1							
	デザイン表現特別演習	1後	2							1	
	造形芸術特別研究Ⅰ	1前・後	4	2							
	造形芸術特別研究Ⅱ	2前・後	4	2							
	小計(16科目)	—	0	35	0	2	1	0	0	0	2
	合計(291科目)	—	4	610	0	56	39	5	0	0	59

卒業要件及び履修方法

修士課程に2年以上在学し、30単位以上(臨床心理学コースに関しては39単位以上)を習得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文または特定の課題についての研究成果の審査及び最終試験に合格することとする。各コースにおける履修方法は、以下のとおりである。

【社会文化システムコース】
基礎教育科目から2単位(必修科目)、基礎専門科目から2単位以上(選択必修科目)、研究科共通科目から2単位(必修科目)、高度専門科目から24単位以上(選択必修科目・教育プログラムから特論4単位・特別演習4単位・特別研究8単位、所属コースで開講される授業科目から4単位及び本研究科で開講される授業科目から4単位を含むこと)を修得し、30単位以上修得すること。

【臨床心理学コース】
基礎教育科目から2単位(必修科目)、基礎専門科目から2単位以上(選択必修科目)、研究科共通科目から2単位(必修科目)、高度専門科目から33単位以上(選択必修科目・臨床心理学に関する必修科目19単位、A・B・C・D・Eの5つの科目群からそれぞれ2単位ずつの計10単位及び課題研究4単位を含むこと)を修得し、39単位以上修得すること。

【芸術・スポーツ科学コース】
基礎教育科目から2単位(必修科目)、基礎専門科目から2単位以上(選択必修科目)、研究科共通科目から2単位(必修科目)、高度専門科目から24単位以上(選択必修科目・教育プログラムから「文化コーディネーター実習」2単位を含む12単位(音楽芸術プログラムにおいては地域音楽活動実践特論2単位及び地域音楽活動実践特別演習2単位を含むこと)、特別研究8単位及び本研究科で開講される授業科目から4単位を含むこと)を修得し、30単位以上修得すること。

(1) ①-②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・担当教員の変更により、「地域創生・次世代形成・多文化共生論」の専任教員等及び兼任教員の配置を「教授2、兼任1」から「教授1、兼任3」に変更。
- ・担当教員の変更により、「社会文化創造論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授4、准教授0」から「教授4、准教授1」に変更。
- ・担当教員の就任により、新規科目「ヨーロッパ思想史特論」「ヨーロッパ思想史特別演習」を追加し、専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「北アジア史特論」「北アジア史特別演習」「東南アジア文化論特論」「東南アジア文化論特別演習」の専任教員等の配置を「教授0、准教授1」から「教授1、准教授0」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「グローバル経済史特論」「グローバル経済史特別演習」「企業経営論特論」「企業経営論特別演習」の専任教員等の配置を「准教授0、講師1」から「准教授1、講師0」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「歴史文化学特別演習」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2、講師1」から「教授3、准教授2、講師0」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「グローバル文化学特別演習」の専任教員等の配置を「教授2、准教授6」から「教授3、准教授5」に変更。
- ・担当教員の昇任及び授業担当見直しのため、「歴史文化学特別研究Ⅰ」「歴史文化学特別研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2」から「教授3、准教授2」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「グローバル文化学特別研究Ⅰ」「グローバル文化学特別研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2」から「教授3、准教授4」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「財政学特論」「財政学特別演習」の専任教員等の配置を「教授0、准教授1」から「教授1、准教授0」に変更。
- ・担当教員の昇任及び授業担当見直しのため、「公共システム特別演習」の専任教員等の配置を「教授0、准教授0、講師4」から「教授10、准教授7、講師2」に変更。
- ・担当教員の退職により、「雇用関係法特論」「雇用関係法特別演習」の専任教員等及び兼任教員の配置を「教授1、兼任0」から「教授0、兼任1」に変更。
- ・担当教員の退職と昇任により、「企業システム特別演習」の専任教員等の配置を「教授8、准教授3、講師1」から「教授7、准教授4、講師0」に変更。
- ・担当教員の退職と昇任により、「企業システム特別研究Ⅰ」「企業システム特別研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授3」から「教授7、准教授4」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「公共システム特別研究Ⅰ」「公共システム特別研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授9、准教授6」から「教授10、准教授5」に変更。
- ・授業担当見直しのため、「課題研究Ⅰ」「課題研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授3、准教授2、講師1」から「教授3、准教授1、講師0」に変更。
- ・担当教員の退職により、「コーチング学特論」「スポーツ心理学特論」「コーチング学特別演習」「スポーツ心理学特別演習」の専任教員等及び兼任教員の配置を「准教授1、兼任0」から「准教授0、兼任1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「文化コーディネーター実習(スポーツ)」「地域スポーツ実践特別演習」の専任教員等の配置を「教授3、准教授2、講師1」から「教授3、准教授1、講師1」に変更。
- ・担当教員の退職および授業担当見直しのため、「スポーツ科学特別研究Ⅰ」「スポーツ科学特別研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授3、准教授4」から「教授2、准教授3」に変更。
- ・授業担当見直しのため、「音楽芸術特別研究Ⅰ」「音楽芸術特別研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授3、准教授1、兼任1」から「教授3、准教授1、兼任0」に変更。
- ・附帯事項に対応するため、「経営組織論特論」を追加し、兼任教員1を配置。
- ・附帯事項に対応するため、「管理会計特論」を追加し、兼任教員1を配置。
- ・授業担当見直しのため、「異分野連携論」の兼任教員の配置を「兼任2」から「兼任1」に変更。
- ・授業担当見直しのため、「異分野実践研修」の兼任教員の配置を「兼任2」から「兼任1」に変更。
- ・授業担当見直しのため、「研究者としての基礎スキル」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2、兼任6」から「教授1、准教授1、兼任6」に変更。
- ・授業担当見直しのため、「データサイエンス」の専任教員等の配置を「兼任4」から「准教授1、兼任5」に変更。
- ・授業担当見直しのため、「技術経営学概論」の兼任教員の配置を「兼任4」から「兼任3」に変更。

【令和4年度】

--

- (注) ・ 2(1)①-② 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

必修	設置時の計画			変更状況			備考
	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	
3	284	0	287	3	288	0	
科目	科目	科目	科目	[0] 科目	[4] 科目	科目	[4] 科目

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{287} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	374,451 m ²	—m ²	—m ²	374,451 m ²				
	運動場用地	125,722 m ²	—m ²	—m ²	125,722 m ²				
	小 計	500,173 m ²	—m ²	—m ²	500,173 m ²				
	そ の 他	7,927,854 m ²	—m ²	—m ²	7,927,854 m ²				
	合 計	8,428,027 m ²	—m ²	—m ²	8,428,027 m ²				
(2) 校 舎	専 用	205,897 m ² 206,034 m² (205,897 m ²) -(206,034 m²)	—m ² (—m ²)	—m ² (—m ²)	205,897 m ² 206,034 m² (205,897 m ²) -(206,034 m²)				
	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
(3) 教 室 等	102 室	75 室	359 室	17 室 (補助職員 0人)	1 室 (補助職員 0人)	大学全体			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			令和3年4月 専任教員1名採用(3)			
	社会文化創造研究科社会文化創造専攻		100 99 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学科・専攻単位で特定 不能なため大学全体の 数 教育研究の充実による 変更(3)	
	—	1,096,045 [316,437] 1,092,962 [317,660]	24,963 [7,087] 24,861 [7,066]	7,977 [6,506] 7,940 [6,873]	6,973 6,933	22 144	51 717		
	計	1,096,045 [316,437] 1,092,962 [317,660]	24,963 [7,087] 24,861 [7,066]	7,977 [6,506] 7,940 [6,873]	6,973 6,933	22 144	51 717		
		1,096,045 [316,437] 1,092,962 [317,660]	24,963 [7,087] 24,861 [7,066]	7,977 [6,506] 7,940 [6,873]	6,973 6,933	22 144	51 717		
(6) 図 書 館	面 積	閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	12,866 m ²	1,487 席 1,422 席		1,064,445 冊 1,060,056 冊		図書スペースの見直し による変更(3)			
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	7,067 m ²	陸 上 競 技 場	野 球 場						
		サ ッ カ ー 場	テ ニ ス コ ー ト						
		水 泳 プ ール (50m)	武 道 場						
	弓 道 場	重 量 挙 練 習 場							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費(運営費交付金)による
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(3)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	山形大学						学生募集停止学科数	26	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
【学部】	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
人文社会科学部	4	290	3年次20	1200	学士 (文学, 学術, 法学, 政策科学, 経済学)	1.04	1.02	—	平成29		
人文社会科学科	4	290	3年次20	1200	学士 (文学, 学術, 法学, 政策科学, 経済学)	1.04	1.02	—	平成29	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	
人文学部	4	—	—	—	学士 (文学, 法学, 経済学, 政策科学)	—	—	—	昭和42		
人間文化学科	4	—	—	—	学士 (文学)	—	—	—	平成8	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	平成29年学生募集停止
法経政策学科	4	—	—	—	学士 (法学, 経済学, 政策科学)	—	—	—	平成18	同上	平成29年学生募集停止
地域教育文化学部	4	175	—	700	学士 (教育学, 学術)	1.03	1.03	—	平成17		
地域教育文化学科	4	175	—	700	学士 (教育学, 学術)	1.03	1.03	—	平成24	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	
児童教育コース	4	80	—	320	学士 (教育学)	1.03	1.01	—	平成24	同上	
文化創生コース	4	95	—	380	学士 (学術)	1.03	1.05	—	平成29	同上	
理学部	4	210	—	840	学士 (理学)	1.03	1.00	—	昭和42		
理学科	4	210	—	840	学士 (理学)	1.03	1.00	—	平成29	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	
数理科学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	—	—	平成7	同上	平成29年学生募集停止
物理学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	—	—	昭和42	同上	平成29年学生募集停止
物質生命化学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	—	—	平成7	同上	平成29年学生募集停止
生物学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	—	—	昭和42	同上	平成29年学生募集停止
医学部		173		978	学士 (医学, 看護学)	1.00	1.01	令和3	昭和48		
医学科	6	113	—	728	学士 (医学)	1.00	1.01	令和3	昭和48	山形県山形市飯田西二丁目2番2号	定員変更(8)
看護学科	4	60	3年次5	250	学士 (看護学)	1.00	1.00	—	平成5	同上	
工学部	4	650		2600	学士 (工学)	1.03	1.01	—	昭和24		
(昼間コース)											
高分子・有機材料工学科	4	140	—	560	学士 (工学)	1.03	1.05	—	平成29	山形県米沢市城南四丁目3番16号	
化学・バイオ工学科	4	140	—	560	学士 (工学)	1.03	0.99	—	平成29	同上	
情報・エレクトロニクス学科	4	150	—	600	学士 (工学)	1.02	1.00	—	平成29	同上	
機械システム工学科	4	140	—	560	学士 (工学)	1.03	1.00	—	平成2	同上	
建築・デザイン学科	4	30	—	120	学士 (工学)	1.02	1.00	—	平成29	同上	
機能高分子工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成12	同上	平成29年学生募集停止
物質化学工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成12	同上	平成29年学生募集停止

バイオ化学工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成22	同上	平成29年学生募集停止
応用生命システム工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成12	同上	平成29年学生募集停止
情報科学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成12	同上	平成29年学生募集停止
電気電子工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成12	同上	平成29年学生募集停止
(フレックスコース)											
システム創成工学科	4	50	—	200	学士 (工学)	1.06	1.02	—	平成22	同上	
農学部	4	165	—	660	学士 (農学)	1.02	1.01	—	昭和24		
食料生命環境学科	4	165	—	660	学士 (農学)	1.02	1.01	—	平成22	山形県鶴岡市若葉町1番23号	
【大学院】											
社会文化創造研究科									令和3		
(修士課程)	2	24	—	48	修士 (文学, 政策科学, 臨床心理学, 学術)	1.04	1.04	—			
社会文化創造専攻	2	24	—	48	修士 (文学, 政策科学, 臨床心理学, 学術)	1.04	1.04	—	令和3	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	
社会文化システム研究科									平成9		
(修士課程)	2	—	—	—	修士 (文学, 政策科学)	—	—	—			
文化システム専攻	2	—	—	—	修士 (文学)	—	—	—	平成9	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	令和3年学生募集停止
社会システム専攻	2	—	—	—	修士 (政策科学)	—	—	—	平成9	同上	令和3年学生募集停止
地域教育文化研究科									平成21		
(修士課程)	2	—	—	—	修士 (臨床心理学, 学術)	—	—	—			
臨床心理学専攻	2	—	—	—	修士 (臨床心理学)	—	—	—	平成21	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	令和3年学生募集停止
文化創造専攻	2	—	—	—	修士 (学術)	—	—	—	平成21	同上	令和3年学生募集停止
医学系研究科									昭和54		
(博士課程)	4	26	—	104	博士 (医学)	0.96	1.00	—			
医学専攻	4	26	—	104	博士 (医学)	0.96	1.00	—	昭和54	山形県山形市飯田西二丁目2番2号	
(博士前期課程)	2	22	—	43	修士 (看護学, 医学)	0.63	0.54	—			
看護学専攻	2	16	—	32	修士 (看護学)	0.59	0.62	—	平成9	同上	
先進的医科学専攻	2	6	—	12	修士 (医科学)	0.74	0.33	—	平成29	同上	
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士 (看護学, 医学)	0.87	1.28	—			
看護学専攻	3	3	—	9	博士 (看護学)	1.10	1.33	—	平成19	同上	
先進的医科学専攻	3	4	—	12	博士 (医科学)	0.82	1.25	—	平成29	同上	
生命環境医科学専攻	3	—	—	—	博士 (医科学)	—	—	—	平成16	同上	平成29年学生募集停止
理工学研究科									昭和45		
(博士前期課程)	2	264	—	528	修士 (理学, 工学)	1.04	1.01	—			
理学専攻	2	53	—	106	修士 (理学)	0.93	0.92	—	平成29	山形県山形市小白川町一丁目4番12号	
化学・バイ工学専攻	2	67	—	134	修士 (工学)	1.01	1.01	—	令和3	山形県米沢市城南四丁目3番16号	
情報・エレクトロニクス専攻	2	62	—	124	修士 (工学)	1.08	1.08	—	令和3	同上	
建築・デザイン・マネジメント専攻	2	12	—	24	修士 (工学)	1.00	1.00	—	令和3	同上	

機械システム工学専攻	2	63	—	126	修士 (工学)	1.16	1.03	—	平成5	同上	定員変更 (13)
物質化学工学専攻	2	—	—	—	—	—	—	—	平成16	同上	令和3年学生 募集停止
バイオ化学工学専攻	2	—	—	—	—	—	—	—	平成22	同上	令和3年学生 募集停止
応用生命システム工学専攻	2	—	—	—	—	—	—	—	平成16	同上	令和3年学生 募集停止
情報科学専攻	2	—	—	—	—	—	—	—	平成16	同上	令和3年学生 募集停止
電気電子工学専攻	2	—	—	—	—	—	—	—	平成16	同上	令和3年学生 募集停止
ものづくり技術経営学専攻	2	—	—	—	—	—	—	—	平成17	同上	令和3年学生 募集停止
(博士後期課程)	3	21	—	63	博士 (理学、工 学、学術)	0.77	0.66	—			
地球共生圏科学専攻	3	5	—	15	博士 (理学、工 学、学術)	1.26	1.60	—	平成11	山形県山形市小白川 町一丁目4番12号	
物質化学工学専攻	3	3	—	9	博士 (工学)	1.10	0.66	—	平成28	山形県米沢市城南四 丁目3番16号	
バイオ工学専攻	3	4	—	12	博士 (工学、学 術)	0.25	0.25	—	平成22	同上	
電子情報工学専攻	3	4	—	12	博士 (工学、学 術)	0.50	0.25	—	平成22	同上	
機械システム工学専攻	3	3	—	9	博士 (工学、学 術)	0.55	0.00	—	平成22	同上	
ものづくり技術経営学専攻	3	2	—	6	博士 (工学、学 術)	1.00	1.00	—	平成19	同上	
有機材料工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学、学 術)	—	—	—	平成22	同上	平成28年学生 募集停止
有機材料システム研究科									平成28		
(博士前期課程)	2	98	—	196	修士 (工学)	1.04	1.11	—			
有機材料システム専攻	2	98	—	196	修士 (工学)	1.04	1.11	—	平成28	山形県米沢市城南四 丁目3番16号	定員変更 (13)
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士 (工学)	1.03	1.10	—			
有機材料システム専攻	3	10	—	30	博士 (工学)	1.03	1.10	—	平成28	同上	
農学研究科									昭和45		
(修士課程)	2	32	—	64	修士 (農学)	0.96	0.96	—			
農学専攻	2	32	—	64	修士 (農学)	0.96	0.96	—	令和3	山形県鶴岡市若葉町 1番23号	
生物生産学専攻	2	—	—	—	—	—	—	—	平成7	同上	令和3年学生 募集停止
生物資源学専攻	2	—	—	—	—	—	—	—	平成14	同上	令和3年学生 募集停止
生物環境学専攻	2	—	—	—	—	—	—	—	平成7	同上	令和3年学生 募集停止
教育実践研究科									平成21		
(専門職学位課程)	2	20	—	40	教職修士 (専門職)	0.92	0.85	—			
教職実践専攻	2	20	—	40	教職修士 (専門職)	0.92	0.85	—	平成21	山形県山形市小白川 町一丁目4番12号	

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科及び別科を除く)。

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている

場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<社会文化創造研究科 社会文化創造専攻>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専	教授	竹田 隆一 <令和3年4月> 体育学修士	竹田 隆一 <令和3年4月> 体育学修士			
		地域社会文化実習(スポーツ) 地域スポーツ実践特別演習 スポーツ文化論特論	地域社会文化実習(スポーツ) 地域スポーツ実践特別演習 スポーツ文化論特論			
兼任	講師	竹田 隆一 <令和4年4月> 体育学修士	竹田 隆一 <令和4年4月> 体育学修士			
		地域社会文化実習(スポーツ) 文化コーディネーター実習(スポーツ) 地域スポーツ実践特別演習 スポーツ文化論特論	地域社会文化実習(スポーツ) 文化コーディネーター実習(スポーツ) 地域スポーツ実践特別演習 スポーツ文化論特論			
専	教授	菅藤 健一 <令和3年4月> 博士(教育学)	菅藤 健一 <令和3年4月> 博士(教育学)			
		臨床心理学面接特論B 臨床心理学実習B 犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に 関する理論と支援の展開) 心理学実践実習基礎 課題研究 I	臨床心理学面接特論B 臨床心理学実習B 犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に 関する理論と支援の展開) 心理学実践実習基礎 課題研究 I			
兼任	講師	菅藤 健一 <令和4年4月> 博士(教育学)	菅藤 健一 <令和4年4月> 博士(教育学)			
		臨床心理学面接特論B 臨床心理学実習B 臨床心理学実習A(心理実践実習 A) 臨床心理学実習B 犯罪心理学特論(司法・犯罪分 野に関する理論と支援の展開) 心理学実践実習基礎 心理実践実習B 心理実践実習C 心理実践実習D 課題研究 I 課題研究 II	臨床心理学面接特論B 臨床心理学実習B 臨床心理学実習A(心理実践実習 A) 臨床心理学実習B 犯罪心理学特論(司法・犯罪分 野に関する理論と支援の展開) 心理学実践実習基礎 心理実践実習B 心理実践実習C 心理実践実習D 課題研究 I 課題研究 II			
専	教授	荒井 太郎 <令和3年4月> 修士(経営法)	荒井 太郎 <令和3年4月> 修士(経営法)			
		国際取引法特論 国際取引法特別演習 国際システム特別演習 国際システム特別研究 I 国際システム特別研究 II	国際取引法特論 国際取引法特別演習 国際システム特別演習 国際システム特別研究 I 国際システム特別研究 II			
専	教授	富田 かおる <令和3年4月> 文学修士	富田 かおる <令和3年4月> 文学修士			
		研究者としての基礎スキル 英語音声学特論 英語音声学特別演習 言語・文化学特別演習 言語・文化学特別研究 I 言語・文化学特別研究 II	研究者としての基礎スキル 英語音声学特論 英語音声学特別演習 言語・文化学特別演習 言語・文化学特別研究 I 言語・文化学特別研究 II			
専	教授	山崎 彰 <令和3年4月> 博士(文学)	山崎 彰 <令和3年4月> 博士(文学)			
		ドイツ史特論 ドイツ史特別演習 歴史文化学特別演習 歴史文化学特別研究 I 歴史文化学特別研究 II	ドイツ史特論 ドイツ史特別演習 歴史文化学特別演習 歴史文化学特別研究 I 歴史文化学特別研究 II			
専	教授	岩田 浩太郎 <令和3年4月> 博士(文学)	岩田 浩太郎 <令和3年4月> 博士(文学)			
		日本近世史特論 日本近世史特別演習 歴史文化学特別演習 歴史文化学特別研究 I 歴史文化学特別研究 II	日本近世史特論 日本近世史特別演習 歴史文化学特別演習 歴史文化学特別研究 I 歴史文化学特別研究 II			
専	教授	福山 泰男 <令和3年4月> 博士(文学)	福山 泰男 <令和3年4月> 博士(文学)			
		中国古代中世文化論特論 中国古代中世文化論特別演習 グローバル文化学特別演習 グローバル文化学特別研究 I グローバル文化学特別研究 II	中国古代中世文化論特論 中国古代中世文化論特別演習 グローバル文化学特別演習 グローバル文化学特別研究 I グローバル文化学特別研究 II			
専	教授	安田 均 <令和3年4月> 博士(経済学)	安田 均 <令和3年4月> 博士(経済学)			
		株式会社論特論 株式会社論特別演習 企業システム特別演習 企業システム特別研究 I 企業システム特別研究 II	株式会社論特論 株式会社論特別演習 企業システム特別演習 企業システム特別研究 I 企業システム特別研究 II			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	降旗 孝 <令和3年4月> 教育学修士 美術教育学特論 美術教育学特別演習 造形芸術特別研究Ⅰ 造形芸術特別研究Ⅱ	専	教授	降旗 孝 <令和3年4月> 教育学修士 美術教育学特論 美術教育学特別演習 造形芸術特別研究Ⅰ 造形芸術特別研究Ⅱ									
専	教授	コーエンズ 久美子 <令和3年4月>博 士(法学) 商法特論 商法特別演習 企業システム特別演習 企業システム特別研究Ⅰ 企業システム特別研究Ⅱ	専	教授	コーエンズ 久美子 <令和3年4月>博 士(法学) 商法特論 商法特別演習 企業システム特別演習 企業システム特別研究Ⅰ 企業システム特別研究Ⅱ									
専	教授	是川 晴彦 <令和3年4月> 経済学修士 公共経済学特論 公共経済学特別演習 公共システム特別演習 公共システム特別研究Ⅰ 公共システム特別研究Ⅱ	専	教授	是川 晴彦 <令和3年4月> 経済学修士 公共経済学特論 公共経済学特別演習 公共システム特別演習 公共システム特別研究Ⅰ 公共システム特別研究Ⅱ									
専	教授	池田 光剛 <令和3年4月> 文学修士 言語学特論 言語学特別演習 日本学特別演習 日本学特別研究Ⅰ 日本学特別研究Ⅱ	専	教授	池田 光剛 <令和3年4月> 文学修士 言語学特論 言語学特別演習 日本学特別演習 日本学特別研究Ⅰ 日本学特別研究Ⅱ									
専	教授	相澤 直樹 <令和3年4月> 修士(文学) ロシア文化論特論 ロシア文化論特別演習 グローバル文化学特別演習 グローバル文化学特別研究Ⅰ グローバル文化学特別研究Ⅱ	専	教授	相澤 直樹 <令和3年4月> 修士(文学) ロシア文化論特論 ロシア文化論特別演習 グローバル文化学特別演習 グローバル文化学特別研究Ⅰ グローバル文化学特別研究Ⅱ									
専	教授	清塚 邦彦 <令和3年4月> 博士(文学) 哲学特論 哲学特別演習 人間科学・思想文化学特別演習 人間科学・思想文化学特別研究Ⅰ 人間科学・思想文化学特別研究Ⅱ	専	教授	清塚 邦彦 <令和3年4月> 博士(文学) 哲学特論 哲学特別演習 人間科学・思想文化学特別演習 人間科学・思想文化学特別研究Ⅰ 人間科学・思想文化学特別研究Ⅱ									
専	教授	高橋 良彰 <令和3年4月> 修士(法学) 民法特論A 民法特別演習A 企業システム特別演習 企業システム特別研究Ⅰ 企業システム特別研究Ⅱ	専	教授	高橋 良彰 <令和3年4月> 修士(法学) 民法特論A 民法特別演習A 企業システム特別演習 企業システム特別研究Ⅰ 企業システム特別研究Ⅱ									
専	教授	洪 慈乙 <令和3年4月> 博士(経済学) 比較会計学特論 比較会計学特別演習 企業システム特別演習 企業システム特別研究Ⅰ 企業システム特別研究Ⅱ	専	教授	洪 慈乙 <令和3年4月> 博士(経済学) 比較会計学特論 比較会計学特別演習 企業システム特別演習 企業システム特別研究Ⅰ 企業システム特別研究Ⅱ									
専	教授	佐川 馨 <令和3年4月> 修士(教育学) 地域音楽活動実践特論 地域音楽活動実践特別演習 音楽教育学特論 音楽教育学特別演習 地域社会文化実習(音楽) 文化コーディネート実習(音楽) 音楽芸術特別研究Ⅰ 音楽芸術特別研究Ⅱ	専	教授	佐川 馨 <令和3年4月> 修士(教育学) 地域音楽活動実践特論 地域音楽活動実践特別演習 音楽教育学特論 音楽教育学特別演習 地域社会文化実習(音楽) 文化コーディネート実習(音楽) 音楽芸術特別研究Ⅰ 音楽芸術特別研究Ⅱ									
専	教授	大喜 直彦 <令和3年4月> 博士(文学) 社会文化創造論Ⅰ 社会文化創造論Ⅱ	専	教授	大喜 直彦 <令和3年4月> 博士(文学) 社会文化創造論Ⅰ									
専	教授	中村 隆 <令和3年4月> 博士(文学) イギリス近現代文化論特論 イギリス近現代文化論特別演習 言語・文化学特別演習 言語・文化学特別研究Ⅰ 言語・文化学特別研究Ⅱ	専	教授	中村 隆 <令和3年4月> 博士(文学) イギリス近現代文化論特論 イギリス近現代文化論特別演習 言語・文化学特別演習 言語・文化学特別研究Ⅰ 言語・文化学特別研究Ⅱ									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	渡辺 文生 <令和3年4月> 文学修士	専	教授	渡辺 文生 <令和3年4月> 文学修士									
		日本語法論特論 日本語法論特別演習 日本語特別演習 日本語特別研究Ⅰ 日本語特別研究Ⅱ			地域創生・次世代形成・多文化共生論 社会文化創造論Ⅱ 日本語法論特論 日本語法論特別演習 日本語特別演習 日本語特別研究Ⅰ 日本語特別研究Ⅱ									
専	教授	松本(秋武) 邦彦 <令和3年4月> 法学修士	専	教授	松本(秋武) 邦彦 <令和3年4月> 法学修士									
		国際政治特論 国際政治特別演習 国際システム特別演習 国際システム特別研究Ⅰ 国際システム特別研究Ⅱ			国際政治特論 国際政治特別演習 国際システム特別演習 国際システム特別研究Ⅰ 国際システム特別研究Ⅱ									
専	教授	笹瀬 雅史 <令和3年4月> 教育学修士	専	教授	笹瀬 雅史 <令和3年4月> 教育学修士									
		生涯スポーツ特論 生涯スポーツ特別演習 文化コーディネーター実習(スポーツ) 地域スポーツ実践特別演習			社会文化創造論Ⅱ 生涯スポーツ特論 生涯スポーツ特別演習 文化コーディネーター実習(スポーツ) 地域スポーツ実践特別演習									
専	教授	三上 英司 <令和3年4月> 教育学修士	専	教授	三上 英司 <令和3年4月> 教育学修士									
		社会文化創造論Ⅰ 社会文化創造論Ⅱ			社会文化創造論Ⅰ									
専	教授	坂井 正人 <令和3年4月> 修士(文学)	専	教授	坂井 正人 <令和3年4月> 修士(文学)									
		社会文化創造論Ⅰ 社会文化創造論Ⅱ 人類学・考古学特論A 人類学・考古学特論B 人類学・考古学特論C 人類学・考古学特論D 人類学・考古学特別演習A 人類学・考古学特別演習B 人類学・考古学特別演習C 人類学・考古学特別演習D 考古人類学特別演習 考古人類学特別研究Ⅰ 考古人類学特別研究Ⅱ			社会文化創造論Ⅰ 社会文化創造論Ⅱ 人類学・考古学特論A 人類学・考古学特論B 人類学・考古学特論C 人類学・考古学特論D 人類学・考古学特別演習A 人類学・考古学特別演習B 人類学・考古学特別演習C 人類学・考古学特別演習D 考古人類学特別演習 考古人類学特別研究Ⅰ 考古人類学特別研究Ⅱ									
専	教授	鈴木 亨 <令和3年4月> 博士(文学)	専	教授	鈴木 亨 <令和3年4月> 博士(文学)									
		英語語法論特論 英語語法論特別演習 言語・文化学特別演習 言語・文化学特別研究Ⅰ 言語・文化学特別研究Ⅱ			英語語法論特論 英語語法論特別演習 言語・文化学特別演習 言語・文化学特別研究Ⅰ 言語・文化学特別研究Ⅱ									
専	教授	加藤 健司 <令和3年4月> 修士(文学)	専	教授	加藤 健司 <令和3年4月> 修士(文学)									
		社会文化創造論Ⅰ 比較文学論特論 比較文学論特別演習 日本語特別演習 日本語特別研究Ⅰ 日本語特別研究Ⅱ			社会文化創造論Ⅰ 比較文学論特論 比較文学論特別演習 日本語特別演習 日本語特別研究Ⅰ 日本語特別研究Ⅱ									
専	教授	富澤 直人 <令和3年4月> 博士(文学)	専	教授	富澤 直人 <令和3年4月> 博士(文学)									
		英語学特論 英語学特別演習 言語・文化学特別演習 言語・文化学特別研究Ⅰ 言語・文化学特別研究Ⅱ			英語学特論 英語学特別演習 言語・文化学特別演習 言語・文化学特別研究Ⅰ 言語・文化学特別研究Ⅱ									
専	教授	山田 浩久 <令和3年4月> 博士(理学)	専	教授	山田 浩久 <令和3年4月> 博士(理学)									
		社会文化創造論Ⅱ 都市計画特論 都市計画特別演習 公共システム特別演習 公共システム特別研究Ⅰ 公共システム特別研究Ⅱ			都市計画特論 都市計画特別演習 公共システム特別演習 公共システム特別研究Ⅰ 公共システム特別研究Ⅱ									
専	教授	砂田 洋志 <令和3年4月> 博士(経済学)	専	教授	砂田 洋志 <令和3年4月> 博士(経済学)									
		計量経済学特論 計量経済学特別演習 企業システム特別演習 企業システム特別研究Ⅰ 企業システム特別研究Ⅱ			計量経済学特論 計量経済学特別演習 企業システム特別演習 企業システム特別研究Ⅰ 企業システム特別研究Ⅱ									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	本多 薫 <令和3年4月> 博士(工学)	人間情報科学特論 人間情報科学特別演習 人間科学・思想文化学特別演習 人間科学・思想文化学特別研究Ⅰ 人間科学・思想文化学特別研究Ⅱ	専	教授	本多 薫 <令和3年4月> 博士(工学)	人間情報科学特論 人間情報科学特別演習 人間科学・思想文化学特別演習 人間科学・思想文化学特別研究Ⅰ 人間科学・思想文化学特別研究Ⅱ				
専	教授	Ryan Stephen Bond <令和3年4月> 理学修士(英国)	異文化間コミュニケーション論特論 異文化間コミュニケーション論特別演習 言語・文化学特別演習 言語・文化学特別研究Ⅰ 言語・文化学特別研究Ⅱ	専	教授	Ryan Stephen Bond <令和3年4月> 理学修士(英国)	異文化間コミュニケーション論特論 異文化間コミュニケーション論特別演習 言語・文化学特別演習 言語・文化学特別研究Ⅰ 言語・文化学特別研究Ⅱ				
専	教授	下平 裕之 <令和3年4月> 修士(経済学)	キャリア・マネジメント 経済学史特論 経済学史特別演習 公共システム特別演習 公共システム特別研究Ⅰ 公共システム特別研究Ⅱ	専	教授	下平 裕之 <令和3年4月> 修士(経済学)	キャリア・マネジメント 経済学史特論 経済学史特別演習 公共システム特別演習 公共システム特別研究Ⅰ 公共システム特別研究Ⅱ				
専	教授	渡辺 修身 <令和3年4月> 学士(芸術)	室内楽特別演習(管弦打)A 室内楽特別演習(管弦打)B 文化コーディネート実習(音楽) 舞台芸術実習 室内楽特別演習(声楽)A 室内楽特別演習(声楽)B 舞台芸術特別演習A 舞台芸術特別演習B 音楽芸術特別研究Ⅰ 音楽芸術特別研究Ⅱ	専	教授	渡辺 修身 <令和3年4月> 学士(芸術)	室内楽特別演習(管弦打)A 室内楽特別演習(管弦打)B 文化コーディネート実習(音楽) 舞台芸術実習 室内楽特別演習(声楽)A 室内楽特別演習(声楽)B 舞台芸術特別演習A 舞台芸術特別演習B 音楽芸術特別研究Ⅰ 音楽芸術特別研究Ⅱ				
専	教授	小林 俊介 <令和3年4月> 博士(芸術学)	文化コーディネート実習(造形) アートマネジメント特論 絵画表現特別演習 平面造形特別演習 造形芸術特別研究Ⅰ 造形芸術特別研究Ⅱ	専	教授	小林 俊介 <令和3年4月> 博士(芸術学)	文化コーディネート実習(造形) アートマネジメント特論 絵画表現特別演習 平面造形特別演習 造形芸術特別研究Ⅰ 造形芸術特別研究Ⅱ				
専	教授	伊藤 豊 <令和3年4月> Ph. D. Ameria Cultural History (米国)	比較文化論特論 比較文化論特別演習 言語・文化学特別演習 言語・文化学特別研究Ⅰ 言語・文化学特別研究Ⅱ	専	教授	伊藤 豊 <令和3年4月> Ph. D. Amerian Cultural History (米国)	比較文化論特論 比較文化論特別演習 言語・文化学特別演習 言語・文化学特別研究Ⅰ 言語・文化学特別研究Ⅱ				
専	教授	今野 健一 <令和3年4月> 博士(法学)	統治組織論特論 統治組織論特別演習 公共システム特別演習 公共システム特別研究Ⅰ 公共システム特別研究Ⅱ	専	教授	今野 健一 <令和3年4月> 博士(法学)	統治組織論特論 統治組織論特別演習 公共システム特別演習 公共システム特別研究Ⅰ 公共システム特別研究Ⅱ				
専	教授	IRWIN MARK <令和3年4月> Doctor of Philosophy (英国)	歴史言語学特論 歴史言語学特別演習 言語・文化学特別演習 言語・文化学特別研究Ⅰ 言語・文化学特別研究Ⅱ	専	教授	IRWIN MARK <令和3年4月> Doctor of Philosophy (英国)	歴史言語学特論 歴史言語学特別演習 言語・文化学特別演習 言語・文化学特別研究Ⅰ 言語・文化学特別研究Ⅱ				
専	教授	三輪 郁 <令和3年4月> 修士(芸術)	音楽表現特別演習(ピアノ)A 音楽表現特別演習(ピアノ)B 音楽芸術特別研究Ⅰ 音楽芸術特別研究Ⅱ	専	教授	三輪 郁 <令和3年4月> 修士(芸術)	音楽表現特別演習(ピアノ)A 音楽表現特別演習(ピアノ)B 音楽芸術特別研究Ⅰ 音楽芸術特別研究Ⅱ				
専	教授	高倉 新喜 <令和3年4月> 博士(法学)	刑事訴訟法特論 刑事訴訟法特別演習 公共システム特別演習 公共システム特別研究Ⅰ 公共システム特別研究Ⅱ	専	教授	高倉 新喜 <令和3年4月> 博士(法学)	刑事訴訟法特論 刑事訴訟法特別演習 公共システム特別演習 公共システム特別研究Ⅰ 公共システム特別研究Ⅱ				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
専	教授	石澤 靖典 <令和3年4月> 博士(文学)	専	教授	石澤 靖典 <令和3年4月> 博士(文学)									
		美学・芸術史特論 美学・芸術史特別演習 人間科学・思想文化学特別演習 人間科学・思想文化学特別研究Ⅰ 人間科学・思想文化学特別研究Ⅱ 美術史特論 美術史特別演習			美学・芸術史特論 美学・芸術史特別演習 人間科学・思想文化学特別演習 人間科学・思想文化学特別研究Ⅰ 人間科学・思想文化学特別研究Ⅱ 美術史特論 美術史特別演習									
専	教授	阿部 晃士 <令和3年4月> 修士(文学)	専	教授	阿部 晃士 <令和3年4月> 修士(文学)									
		計量社会学特論 計量社会学特別演習 公共システム特別演習 公共システム特別研究Ⅰ 公共システム特別研究Ⅱ			計量社会学特論 計量社会学特別演習 公共システム特別演習 公共システム特別研究Ⅰ 公共システム特別研究Ⅱ									
専	教授	藤岡 久美子 <令和3年4月> 博士(心理学)	専	教授	藤岡 久美子 <令和3年4月> 博士(心理学)									
		臨床心理学特論B 臨床心理実習A(心理実践実習A) 臨床心理実習B 心理学実証法特論 心理学実践実習基礎 心理実践実習B 心理実践実習C 心理実践実習D 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ			臨床心理学特論B 臨床心理実習A(心理実践実習A) 臨床心理実習B 心理学実証法特論 心理学実践実習基礎 心理実践実習B 心理実践実習C 心理実践実習D 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ									
専	教授	山口 昌樹 <令和3年4月> 博士(経済学)	専	教授	山口 昌樹 <令和3年4月> 博士(経済学)									
		国際金融論特論 国際金融論特別演習 国際システム特別演習 国際システム特別研究Ⅰ 国際システム特別研究Ⅱ			国際金融論特論 国際金融論特別演習 国際システム特別演習 国際システム特別研究Ⅰ 国際システム特別研究Ⅱ									
専	教授	中澤 信幸 <令和3年4月> 博士(文学)	専	教授	中澤 信幸 <令和3年4月> 博士(文学)									
		日本語学特論 日本語学特別演習 日本語特別演習 日本語特別研究Ⅰ 日本語特別研究Ⅱ			日本語学特論 日本語学特別演習 日本語特別演習 日本語特別研究Ⅰ 日本語特別研究Ⅱ									
専	教授	鈴木 明宏 <令和3年4月> 博士(経済学)	専	教授	鈴木 明宏 <令和3年4月> 博士(経済学)									
		ゲーム理論特論 ゲーム理論特別演習 企業システム特別演習 企業システム特別研究Ⅰ 企業システム特別研究Ⅱ			ゲーム理論特論 ゲーム理論特別演習 企業システム特別演習 企業システム特別研究Ⅰ 企業システム特別研究Ⅱ									
専	教授	大森 桂 <令和3年4月> 博士(教育学)	専	教授	大森 桂 <令和3年4月> 博士(教育学)									
		食健康科学特論 食健康科学特別演習 スポーツ科学特別研究Ⅰ スポーツ科学特別研究Ⅱ			食健康科学特論 食健康科学特別演習 スポーツ科学特別研究Ⅰ スポーツ科学特別研究Ⅱ									
専	教授	森岡 卓司 <令和3年4月> 博士(文学)	専	教授	森岡 卓司 <令和3年4月> 博士(文学)									
		日本近代文学特論 日本近代文学特別演習 日本語特別演習 日本語特別研究Ⅰ 日本語特別研究Ⅱ			日本近代文学特論 日本近代文学特別演習 日本語特別演習 日本語特別研究Ⅰ 日本語特別研究Ⅱ									
専	教授	伊藤 晶文 <令和3年4月> 博士(理学)	専	教授	伊藤 晶文 <令和3年4月> 博士(理学)									
		環境地理学特論 環境地理学特別演習 公共システム特別演習 公共システム特別研究Ⅰ 公共システム特別研究Ⅱ			環境地理学特論 環境地理学特別演習 公共システム特別演習 公共システム特別研究Ⅰ 公共システム特別研究Ⅱ									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専	教授	阿部 未央 <令和3年4月> 博士(法学)	阿部 未央 <令和3年4月> 博士(法学)				
		雇用関係法特論 雇用関係法特別演習 企業システム特別演習 企業システム特別研究Ⅰ 企業システム特別研究Ⅱ	雇用関係法特論 雇用関係法特別演習				
専	教授	佐藤 宏平 <令和3年4月> 博士(教育学)	佐藤 宏平 <令和3年4月> 博士(教育学)				
		臨床心理学特論A 臨床心理学基礎実習 家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践) 心理学実践実習基礎 心理実践実習B 心理実践実習C 心理実践実習D 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ	社会文化創造論Ⅱ 臨床心理学特論A 臨床心理学基礎実習 家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践) 心理学実践実習基礎 心理実践実習B 心理実践実習C 心理実践実習D 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ				
専	教授	小笠原 奈菜 <令和3年4月> 博士(法学)	小笠原 奈菜 <令和3年4月> 博士(法学)				
		民法特論B 民法特別演習B 企業システム特別演習 企業システム特別研究Ⅰ 企業システム特別研究Ⅱ	民法特論B 民法特別演習B 企業システム特別演習 企業システム特別研究Ⅰ 企業システム特別研究Ⅱ				
専	教授	西岡 正樹 <令和3年4月> 博士(法学)	西岡 正樹 <令和3年4月> 博士(法学)				
		刑法特論 刑法特別演習 公共システム特別演習 公共システム特別研究Ⅰ 公共システム特別研究Ⅱ	刑法特論 刑法特別演習 公共システム特別演習 公共システム特別研究Ⅰ 公共システム特別研究Ⅱ				
専	教授	渡邊 信晃 <令和3年4月> 博士(体育科学)	渡邊 信晃 <令和3年4月> 博士(体育科学)				
		トレーニング科学特論 トレーニング科学特別演習 文化コーディネーター実習(スポーツ) 地域スポーツ実践特別演習 スポーツ科学特別研究Ⅰ スポーツ科学特別研究Ⅱ	トレーニング科学特論 トレーニング科学特別演習 文化コーディネーター実習(スポーツ) 地域スポーツ実践特別演習 スポーツ科学特別研究Ⅰ スポーツ科学特別研究Ⅱ				
専	教授	中島 宏 <令和3年4月> 博士(法学)	中島 宏 <令和3年4月> 博士(法学)				
		人権論特論 人権論特別演習 公共システム特別演習 公共システム特別研究Ⅰ 公共システム特別研究Ⅱ	人権論特論 人権論特別演習 公共システム特別演習 公共システム特別研究Ⅰ 公共システム特別研究Ⅱ				
専	准教授	田北 俊昭 <令和3年4月> 博士(情報科学)	田北 俊昭 <令和3年4月> 博士(情報科学)				
		社会経済システム論特論 社会経済システム論特別演習 公共システム特別演習 公共システム特別研究Ⅰ 公共システム特別研究Ⅱ	社会経済システム論特論 社会経済システム論特別演習 公共システム特別演習 公共システム特別研究Ⅰ 公共システム特別研究Ⅱ				
専	准教授	赤倉(相澤) 泉 <令和3年4月> 修士(法学)	赤倉(相澤) 泉 <令和3年4月> 修士(法学)				
		現代中国政治特論 現代中国政治特別演習 国際システム特別演習	現代中国政治特論 現代中国政治特別演習 国際システム特別演習				
専	准教授	和泉田 保一 <令和3年4月> 修士(法学)	和泉田 保一 <令和3年4月> 修士(法学)				
		行政法特論 行政法特別演習 公共システム特別演習 公共システム特別研究Ⅰ 公共システム特別研究Ⅱ	行政法特論 行政法特別演習 公共システム特別演習 公共システム特別研究Ⅰ 公共システム特別研究Ⅱ				
専	准教授	名倉 明子 <令和3年4月> 修士(音楽)	名倉 明子 <令和3年4月> 修士(音楽)				
		作曲特論 作曲特別演習 文化コーディネーター実習(音楽) 音楽芸術特別研究Ⅰ 音楽芸術特別研究Ⅱ	作曲特論 作曲特別演習 文化コーディネーター実習(音楽) 音楽芸術特別研究Ⅰ 音楽芸術特別研究Ⅱ				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専	准教授	宇津 まり子 <令和3年4月> 修士(文学)	宇津 まり子 <令和3年4月> 修士(文学)				
		英米現代文化論特論 英米現代文化論特別演習 言語・文化学特別演習 言語・文化学特別研究Ⅰ 言語・文化学特別研究Ⅱ	英米現代文化論特論 英米現代文化論特別演習 言語・文化学特別演習 言語・文化学特別研究Ⅰ 言語・文化学特別研究Ⅱ				
専	准教授	松本 剛 <令和3年4月> Doctor of Philosophy Anthropology (米園)	松本 剛 <令和3年4月> Doctor of Philosophy Anthropology (米園)				
		人類学・考古学特論A 人類学・考古学特論B 人類学・考古学特論C 人類学・考古学特論D 人類学・考古学特別演習A 人類学・考古学特別演習B 人類学・考古学特別演習C 人類学・考古学特別演習D 考古人類学特別演習 考古人類学特別研究Ⅰ 考古人類学特別研究Ⅱ	人類学・考古学特論A 人類学・考古学特論B 人類学・考古学特論C 人類学・考古学特論D 人類学・考古学特別演習A 人類学・考古学特別演習B 人類学・考古学特別演習C 人類学・考古学特別演習D 考古人類学特別演習 考古人類学特別研究Ⅰ 考古人類学特別研究Ⅱ				
専	准教授	西平 直史 <令和3年4月> 博士(工学)	西平 直史 <令和3年4月> 博士(工学)				
		経営情報特論 経営情報特別演習 企業システム特別演習 企業システム特別研究Ⅰ 企業システム特別研究Ⅱ	経営情報特論 経営情報特別演習 企業システム特別演習 企業システム特別研究Ⅰ 企業システム特別研究Ⅱ				
専	准教授	今村 真央 <令和3年4月> Doctor of Philosophy Anthropology (シンガポール)	今村 真央 <令和3年4月> Doctor of Philosophy Anthropology (シンガポール)				
		東南アジア文化論特論 東南アジア文化論特別演習 グローバル文化学特別演習 グローバル文化学特別研究Ⅰ グローバル文化学特別研究Ⅱ	東南アジア文化論特論 東南アジア文化論特別演習 グローバル文化学特別演習 グローバル文化学特別研究Ⅰ グローバル文化学特別研究Ⅱ				
専	准教授	渡辺 将尚 <令和3年4月> 修士(文学)	渡辺 将尚 <令和3年4月> 修士(文学)				
		ドイツ現代文化論特論 ドイツ現代文化論特別演習 グローバル文化学特別演習 グローバル文化学特別研究Ⅰ グローバル文化学特別研究Ⅱ	ドイツ現代文化論特論 ドイツ現代文化論特別演習 グローバル文化学特別演習 グローバル文化学特別研究Ⅰ グローバル文化学特別研究Ⅱ				
専	准教授	中村 文子 <令和3年4月> 博士(情報科学)	中村 文子 <令和3年4月> 博士(情報科学)				
		グローバル・ガバナンス論特論 グローバル・ガバナンス論特別演習 国際システム特別演習 国際システム特別研究Ⅰ 国際システム特別研究Ⅱ	グローバル・ガバナンス論特論 グローバル・ガバナンス論特別演習 国際システム特別演習 国際システム特別研究Ⅰ 国際システム特別研究Ⅱ				
専	准教授	小泉 有紀子 <令和3年4月> Doctor of Philosophy Linguistics (米園)	小泉 有紀子 <令和3年4月> Doctor of Philosophy Linguistics (米園)				
		心理言語学特論 心理言語学特別演習 言語・文化学特別演習 言語・文化学特別研究Ⅰ 言語・文化学特別研究Ⅱ	心理言語学特論 心理言語学特別演習 言語・文化学特別演習 言語・文化学特別研究Ⅰ 言語・文化学特別研究Ⅱ				
専	准教授	土井 敬真 <令和3年4月> 修士(芸術学)	土井 敬真 <令和3年4月> 修士(芸術学)				
		彫刻表現特別演習 立体造形特別演習 地域社会文化実習(造形)	彫刻表現特別演習 立体造形特別演習 地域社会文化実習(造形)				
専	准教授	天野 尚樹 <令和3年4月> 博士(学術)	天野 尚樹 <令和3年4月> 博士(学術)				
		北東アジア文化論特論 北東アジア文化論特別演習 グローバル文化学特別演習 グローバル文化学特別研究Ⅰ グローバル文化学特別研究Ⅱ	北東アジア文化論特論 北東アジア文化論特別演習 グローバル文化学特別演習 グローバル文化学特別研究Ⅰ グローバル文化学特別研究Ⅱ				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専	准教授	兼子 良久 <令和3年4月> 博士(経営学)	兼子 良久 <令和3年4月> 博士(経営学)				
		マーケティング論特論 マーケティング論特別演習 企業システム特別演習 企業システム特別研究Ⅰ 企業システム特別研究Ⅱ	マーケティング論特論 マーケティング論特別演習 企業システム特別演習 企業システム特別研究Ⅰ 企業システム特別研究Ⅱ				
専	准教授	中村 篤志 <令和3年4月> 博士(文学)	中村 篤志 <令和3年4月> 博士(文学)				
		北アジア史特論 北アジア史特別演習 歴史文化学特別演習 歴史文化学特別研究Ⅰ 歴史文化学特別研究Ⅱ	北アジア史特論 北アジア史特別演習 歴史文化学特別演習 歴史文化学特別研究Ⅰ 歴史文化学特別研究Ⅱ				
専	准教授	坂本 直樹 <令和3年4月> 博士(経済学)	坂本 直樹 <令和3年4月> 博士(経済学)				
		財政学特論 財政学特別演習 公共システム特別演習 公共システム特別研究Ⅰ 公共システム特別研究Ⅱ	財政学特論 財政学特別演習 公共システム特別演習 公共システム特別研究Ⅰ 公共システム特別研究Ⅱ				
専	准教授	松本 雄一 <令和3年4月> Doctor of Philosophy(米園)	松本 雄一 <令和3年4月> Doctor of Philosophy(米園)				
		人類学・考古学特論A 人類学・考古学特論B 人類学・考古学特論C 人類学・考古学特論D 人類学・考古学特別演習A 人類学・考古学特別演習B 人類学・考古学特別演習C 人類学・考古学特別演習D 考古人類学特別演習 考古人類学特別研究Ⅰ 考古人類学特別研究Ⅱ	人類学・考古学特論A 人類学・考古学特論B 人類学・考古学特論C 人類学・考古学特論D 人類学・考古学特別演習A 人類学・考古学特別演習B 人類学・考古学特別演習C 人類学・考古学特別演習D 考古人類学特別演習 考古人類学特別研究Ⅰ 考古人類学特別研究Ⅱ				
専	准教授	矢口 友理 <令和3年4月> 博士(医科学)	矢口 友理 <令和3年4月> 博士(医科学)				
		スポーツ栄養学特論 スポーツ栄養学特別演習 スポーツ科学特別研究Ⅰ スポーツ科学特別研究Ⅱ	スポーツ栄養学特論 スポーツ栄養学特別演習 スポーツ科学特別研究Ⅰ スポーツ科学特別研究Ⅱ				
専	准教授	池田 弘乃 <令和3年4月> 修士(法学)	池田 弘乃 <令和3年4月> 修士(法学)				
		法哲学特論 法哲学特別演習 公共システム特別演習	法哲学特論 法哲学特別演習 公共システム特別演習				
専	准教授	楠本 健二 <令和3年4月> 博士(栄養学)	楠本 健二 <令和3年4月> 博士(栄養学)				
		人間栄養科学特論 人間栄養科学特別演習 スポーツ科学特別研究Ⅰ スポーツ科学特別研究Ⅱ	人間栄養科学特論 人間栄養科学特別演習 スポーツ科学特別研究Ⅰ スポーツ科学特別研究Ⅱ				
専	准教授	杉野 誠 <令和3年4月> 博士(経済学)	杉野 誠 <令和3年4月> 博士(経済学)				
		環境経済学特論 環境経済学特別演習 公共システム特別演習 公共システム特別研究Ⅰ 公共システム特別研究Ⅱ	環境経済学特論 環境経済学特別演習 公共システム特別演習 公共システム特別研究Ⅰ 公共システム特別研究Ⅱ				
専	准教授	合田 陽祐 <令和3年4月> 博士(フランス文学)	合田 陽祐 <令和3年4月> 博士(フランス文学)				
		フランス文化論特論 フランス文化論特別演習 グローバル文化学特別演習 グローバル文化学特別研究Ⅰ グローバル文化学特別研究Ⅱ	フランス文化論特論 フランス文化論特別演習 グローバル文化学特別演習 グローバル文化学特別研究Ⅰ グローバル文化学特別研究Ⅱ				
専	准教授	摂津 隆信 <令和3年4月> 修士(文学)	摂津 隆信 <令和3年4月> 修士(文学)				
		ドイツ文化論特論 ドイツ文化論特別演習 グローバル文化学特別演習	ドイツ文化論特論 ドイツ文化論特別演習 グローバル文化学特別演習				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	山本 睦 <令和3年4月> 博士(文学)	専	准教授	山本 睦 <令和3年4月> 博士(文学)									
		人類学・考古学特論A 人類学・考古学特論B 人類学・考古学特論C 人類学・考古学特論D 人類学・考古学特別演習A 人類学・考古学特別演習B 人類学・考古学特別演習C 人類学・考古学特別演習D 考古人類学特別演習 考古人類学特別研究Ⅰ 考古人類学特別研究Ⅱ			人類学・考古学特論A 人類学・考古学特論B 人類学・考古学特論C 人類学・考古学特論D 人類学・考古学特別演習A 人類学・考古学特別演習B 人類学・考古学特別演習C 人類学・考古学特別演習D 考古人類学特別演習 考古人類学特別研究Ⅰ 考古人類学特別研究Ⅱ									
専	准教授	大久保 清朗 <令和3年4月> 修士(学術)	専	准教授	大久保 清朗 <令和3年4月> 修士(学術)									
		表象文化理論特論 表象文化理論特別演習 人間科学・思想文化学特別演習 人間科学・思想文化学特別研究Ⅰ 人間科学・思想文化学特別研究Ⅱ			表象文化理論特論 表象文化理論特別演習 人間科学・思想文化学特別演習 人間科学・思想文化学特別研究Ⅰ 人間科学・思想文化学特別研究Ⅱ									
専	准教授	溜川 健一 <令和3年4月> 博士(商学)	専	准教授	溜川 健一 <令和3年4月> 博士(商学)									
		マクロ経済学特論 マクロ経済学特別演習 公共システム特別演習 公共システム特別研究Ⅰ 公共システム特別研究Ⅱ			マクロ経済学特論 マクロ経済学特別演習 公共システム特別演習 公共システム特別研究Ⅰ 公共システム特別研究Ⅱ									
専	准教授	許 時嘉 <令和3年4月> 博士(文学)	専	准教授	許 時嘉 <令和3年4月> 博士(文学)									
		東アジア近現代文化論特論 東アジア近現代文化論特別演習 グローバル文化学特別演習 グローバル文化学特別研究Ⅰ グローバル文化学特別研究Ⅱ			東アジア近現代文化論特論 東アジア近現代文化論特別演習 グローバル文化学特別演習 グローバル文化学特別研究Ⅰ グローバル文化学特別研究Ⅱ									
専	准教授	丸山 政己 <令和3年4月> 博士(法学)	専	准教授	丸山 政己 <令和3年4月> 博士(法学)									
		国際法特論 国際法特別演習 国際システム特別演習 国際システム特別研究Ⅰ 国際システム特別研究Ⅱ			国際法特論 国際法特別演習 国際システム特別演習 国際システム特別研究Ⅰ 国際システム特別研究Ⅱ									
専	准教授	大杉 尚之 <令和3年4月> 博士(心理学)	専	准教授	大杉 尚之 <令和3年4月> 博士(心理学)									
		心理学特論A 心理学特別演習A 人間科学・思想文化学特別演習 人間科学・思想文化学特別研究Ⅰ 人間科学・思想文化学特別研究Ⅱ			心理学特論A 心理学特別演習A 人間科学・思想文化学特別演習 人間科学・思想文化学特別研究Ⅰ 人間科学・思想文化学特別研究Ⅱ									
専	准教授	川村 一義 <令和3年4月> 博士(法学)	専	准教授	川村 一義 <令和3年4月> 博士(法学)									
		公共政策学特論 公共政策学特別演習 公共システム特別演習 公共システム特別研究Ⅰ 公共システム特別研究Ⅱ			公共政策学特論 公共政策学特別演習 公共システム特別演習 公共システム特別研究Ⅰ 公共システム特別研究Ⅱ									
専	准教授	高橋 真彦 <令和3年4月> 博士(言語学)	専	准教授	高橋 真彦 <令和3年4月> 博士(言語学)									
		生成文法論特論 生成文法論特別演習 言語・文化学特別演習 言語・文化学特別研究Ⅰ 言語・文化学特別研究Ⅱ			生成文法論特論 生成文法論特別演習 言語・文化学特別演習 言語・文化学特別研究Ⅰ 言語・文化学特別研究Ⅱ									
専	准教授	本島(中陳) 優子 <令和3年4月> 修士(教育学)	専	准教授	本島(中陳) 優子 <令和3年4月> 修士(教育学)									
		研究者としての基礎スキル 発達心理学特論(福祉分野に 関する理論と支援の展開) 心理学実践実習基礎 心理実践実習B 心理実践実習C 心理実践実習D 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ			研究者としての基礎スキル 発達心理学特論(福祉分野に 関する理論と支援の展開) 心理学実践実習基礎 心理実践実習B 心理実践実習C 心理実践実習D 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		
専	准教授	吉原 元子 <令和3年4月> 博士(経済学)	専	准教授						
		中小企業論特論 中小企業論特別演習 企業システム特別演習 企業システム特別研究Ⅰ 企業システム特別研究Ⅱ								
専	准教授	小幡 圭祐 <令和3年4月> 博士(文学)	専	准教授						
		日本近代史特論 日本近代史特別演習 歴史文化学特別演習 歴史文化学特別研究Ⅰ 歴史文化学特別研究Ⅱ								
専	准教授	小林 正法 <令和3年4月> 博士(学術)	専	准教授						
		心理科学特論B 心理科学特別演習B 人間科学・思想文化学特別演習 人間科学・思想文化学特別研究Ⅰ 人間科学・思想文化学特別研究Ⅱ								
専	准教授	生田 慶穂 <令和3年4月> 博士(人文科学)	専	准教授						
		日本古典文学特論 日本古典文学特別演習 日本学特別演習 日本学特別研究Ⅰ 日本学特別研究Ⅱ								
専	准教授	池田 英治 <令和3年4月> 博士(体育学)	兼任	講師						
		コーチング学特論 コーチング学特別演習 文化コーディネーター実習(スポーツ) 地域スポーツ実践特別演習 スポーツ心理学特論 スポーツ心理学特別演習 スポーツ科学特別研究Ⅰ スポーツ科学特別研究Ⅱ			コーチング学特論 コーチング学特別演習 スポーツ心理学特論 スポーツ心理学特別演習					
専	准教授	関口 雄一 <令和3年4月> 博士(心理学)	専	准教授						
		研究者としての基礎スキル 臨床心理学面接特論A(心理支援に関する理論と実践) 臨床心理学査定演習A(心理的アセスメントに関する理論と実践) 臨床心理学基礎実習 教育心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)			臨床心理学面接特論A(心理支援に関する理論と実践) 臨床心理学査定演習A(心理的アセスメントに関する理論と実践) 臨床心理学基礎実習 教育心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開) 心理実習実習基礎 心理実習実習C 心理実習実習D					
専	准教授	井上 功一郎 <令和3年4月> 博士(教育学)	専	准教授						
		パフォーマンス解析特論 パフォーマンス解析特別演習 文化コーディネーター実習(スポーツ) 地域スポーツ実践特別演習 スポーツ科学特別研究Ⅰ スポーツ科学特別研究Ⅱ			パフォーマンス解析特論 パフォーマンス解析特別演習 文化コーディネーター実習(スポーツ) 地域スポーツ実践特別演習 スポーツ科学特別研究Ⅰ スポーツ科学特別研究Ⅱ					
専	准教授	竹内(大久保) 麻貴 <令和3年4月> 博士(社会学)	専	准教授						
		家族社会学特論 家族社会学特別演習 公共システム特別演習			家族社会学特論 家族社会学特別演習 公共システム特別演習					
			専	准教授						
					梅並 良佑 <令和3年4月> 博士(学術)					
					ヨーロッパ思想史特論 ヨーロッパ思想史特別演習					
専	講師	柴田 聡 <令和3年4月> 博士(経営学)	専	准教授						
		企業経営論特論 企業経営論特別演習 企業システム特別演習			データサイエンス 企業経営論特論 企業経営論特別演習 企業システム特別演習 企業システム特別研究Ⅰ 企業システム特別研究Ⅱ					

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	諸田 博昭 <令和3年4月> 博士(経済学)	専	准教授	諸田 博昭 <令和3年4月> 博士(経済学)									
		グローバル経済史特論 グローバル経済史特別演習 歴史文化学特別演習			グローバル経済史特論 グローバル経済史特別演習 歴史文化学特別演習 歴史文化学特別研究Ⅰ 歴史文化学特別研究Ⅱ									
専	講師	河合 輝久 <令和3年4月> 博士(教育学)	専	講師	河合 輝久 <令和3年4月> 博士(教育学)									
		心理療法特論 臨床心理学基礎実習 心の健康教育に関する理論と実践			心理療法特論 臨床心理学基礎実習 心の健康教育に関する理論と実践 心理学実践実習基礎 心理学実践実習B 心理学実践実習C 心理学実践実習D									
専	講師	源島 稔 <令和3年4月> 博士(政治学)	専	講師	源島 稔 <令和3年4月> 博士(政治学)									
		行政学特論 行政学特別演習 公共システム特別演習			行政学特論 行政学特別演習 公共システム特別演習									
専	講師	本多 広樹 <令和3年4月> 博士(理学)	専	講師	本多 広樹 <令和3年4月> 博士(理学)									
		地域政策学特論 地域政策学特別演習 公共システム特別演習			地域政策学特論 地域政策学特別演習 公共システム特別演習									
専	講師	小松 恒誠 <令和3年4月> 修士(教育学)	専	講師	小松 恒誠 <令和3年4月> 修士(教育学)									
		スポーツ教育学特論 スポーツ教育学特別演習 文化コーディネーター実習(スポーツ) 地域スポーツ実践特別演習			スポーツ教育学特論 スポーツ教育学特別演習 文化コーディネーター実習(スポーツ) 地域スポーツ実践特別演習									
専	講師	時任 翔平 <令和3年4月> 博士(経済学)	専	講師	時任 翔平 <令和3年4月> 博士(経済学)									
		国際経済論特論 国際経済論特別演習 国際システム特別演習			国際経済論特論 国際経済論特別演習 国際システム特別演習									
兼任	教授	中島 健介 <令和3年4月> 工学博士												
		技術経営学概論												
兼任	教授	浦川 修司 <令和3年4月> 博士(農学)	兼任	教授	浦川 修司 <令和3年4月> 博士(農学)									
		研究者としての基礎スキル			研究者としての基礎スキル									
兼任	教授	石澤 賢一 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	教授	石澤 賢一 <令和3年4月> 博士(医学)									
		先端医学特論			先端医学特論									
兼任	教授	小関 卓也 <令和3年4月> 博士(農学)	兼任	教授	小関 卓也 <令和3年4月> 博士(農学)									
		食の未来を考える			食の未来を考える									
兼任	教授	山崎 健太郎 <令和3年4月> 医学博士	兼任	教授	山崎 健太郎 <令和3年4月> 医学博士									
		先端医学特論			先端医学特論									
兼任	教授	藤井 順造 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	教授	藤井 順造 <令和3年4月> 博士(医学)									
		先端医学特論			先端医学特論									
兼任	教授	小野 浩幸 <令和3年4月> 博士(学術)	兼任	教授	小野 浩幸 <令和3年4月> 博士(学術)									
		技術経営学概論			技術経営学概論									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	教授	村山 秀樹 <令和3年4月> 博士(農学)	村山 秀樹 <令和3年4月> 博士(農学)			
		食の未来を考える	食の未来を考える			
兼任	教授	小倉 泰憲 <令和3年4月> 修士(カウンセリング)	小倉 泰憲 <令和3年4月> 修士(カウンセリング)			
		研究者としての基礎スキル 知財と倫理 産業臨床心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	研究者としての基礎スキル 知財と倫理 産業臨床心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)			
			評司 修一 <令和3年4月> 博士(理学)			
			データサイエンス			
兼任	教授	脇 克志 <令和3年4月> 博士(理学)	脇 克志 <令和3年4月> 博士(理学)			
		データサイエンス	データサイエンス			
			ロベス ラリー <令和3年4月> 博士(地球環境科学)			
			データサイエンス			
兼任	教授	日杆 毅 <令和3年4月> 博士(理学)				
		地域創生・次世代形成・多文化共生論				
			嶋山 博史 <令和3年4月> 博士(理学)			
			地域創生・次世代形成・多文化共生論			
兼任	教授	園田 順彦 <令和3年4月> 博士(医学)	園田 順彦 <令和3年4月> 博士(医学)			
		先端医学科学特論	先端医学科学特論			
兼任	教授	岩井 岳夫 <令和3年4月> 博士(工学)	岩井 岳夫 <令和3年4月> 博士(工学)			
		先端医学科学特論	先端医学科学特論			
兼任	教授	中島 修 <令和3年4月> 博士(薬学)	中島 修 <令和3年4月> 博士(薬学)			
		先端医学科学特論	先端医学科学特論			
兼任	教授	古澤 宏幸 <令和3年4月> 博士(工学)	古澤 宏幸 <令和3年4月> 博士(工学)			
		異分野連携 異分野実践研修 データサイエンス	異分野連携 異分野実践研修			
			渡辺 昌規 <令和3年4月> 博士(工学)			
			食の未来を考える			
兼任	教授	落合 文吾 <令和3年4月> 博士(工学)	落合 文吾 <令和3年4月> 博士(工学)			
		Academic Skills: Scientific Presentations + Writing	Academic Skills: Scientific Presentations + Writing			
兼任	教授	大村 一史 <令和3年4月> 博士(医学)	大村 一史 <令和3年4月> 博士(医学)			
		大脳生理学特論	大脳生理学特論			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
兼任	教授	中西 正樹 <令和3年4月> 博士(工学)	兼任	教授	中西 正樹 <令和3年4月> 博士(工学)									
		データサイエンス			データサイエンス									
兼任	教授	渡部 徹 <令和3年4月> 博士(工学)	兼任	教授	渡部 徹 <令和3年4月> 博士(工学)									
		食の未来を考える			食の未来を考える									
兼任	教授	村上 正泰 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	教授	村上 正泰 <令和3年4月> 博士(医学)									
		研究者としての基礎スキル 先端医学特論			研究者としての基礎スキル 先端医学特論									
兼任	教授	富松 裕 <令和3年4月> 博士(地球環境科学)	兼任	教授	富松 裕 <令和3年4月> 博士(地球環境科学)									
		研究者としての基礎スキル			研究者としての基礎スキル									
兼任	教授	東原 知哉 <令和3年4月> 博士(工学)	兼任	教授	東原 知哉 <令和3年4月> 博士(工学)									
		Global Materials System Innovation			Global Materials System Innovation									
兼任	教授	鹿戸 将史 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	教授	鹿戸 将史 <令和3年4月> 博士(医学)									
		先端医学特論			先端医学特論									
兼任	教授	山口 浩明 <令和3年4月> 博士(薬学)	兼任	教授	山口 浩明 <令和3年4月> 博士(薬学)									
		先端医学特論			先端医学特論									
兼任	准教授	野田 博行 <令和3年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	野田 博行 <令和3年4月> 博士(工学)									
		技術経営学概論			技術経営学概論									
兼任	准教授	佐藤 琴 <令和3年4月> 修士(文学)	兼任	准教授	佐藤 琴 <令和3年4月> 修士(文学)									
		伝統文化特論			伝統文化特論									
兼任	准教授	奥野 貴士 <令和3年4月> 博士(理学)	兼任	准教授	奥野 貴士 <令和3年4月> 博士(理学)									
		研究者としての基礎スキル			研究者としての基礎スキル									
兼任	准教授	藤科 智海 <令和3年4月> 博士(農学)	兼任	准教授	藤科 智海 <令和3年4月> 博士(農学)									
		食の未来を考える			食の未来を考える									
兼任	准教授	松山 裕城 <令和3年4月> 博士(農学)	兼任	准教授	松山 裕城 <令和3年4月> 博士(農学)									
		食の未来を考える			食の未来を考える									
兼任	准教授	星野 友紀 <令和3年4月> 博士(理学)	兼任	准教授	星野 友紀 <令和3年4月> 博士(理学)									
		食の未来を考える			食の未来を考える									
兼任	准教授	高窪 祐弥 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	高窪 祐弥 <令和3年4月> 博士(医学)									
		先端医学特論			先端医学特論									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	越智 陽城 <令和3年4月> 博士(バイオサイエンス)	兼任	准教授	越智 陽城 <令和3年4月> 博士(バイオサイエンス)						
		先端医学特論			先端医学特論						
			兼任	准教授	滝澤 匡 <令和3年4月> 博士(農学)						
					地域創生・次世代形成・多文化共生論						
兼任	准教授	田中 敦 <令和3年4月> 博士(理学)	兼任	准教授	田中 敦 <令和3年4月> 博士(理学)						
		先端医学特論			先端医学特論						
兼任	准教授	安田 宗樹 <令和3年4月> 博士(情報科学)	兼任	教授	安田 宗樹 <令和3年4月> 博士(情報科学)						
		データサイエンス			データサイエンス						
兼任	准教授	小山 信吾 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	小山 信吾 <令和3年4月> 博士(医学)						
		先端医学特論			先端医学特論						
兼任	准教授	永石 尚也 <令和3年4月> 博士(法学)									
		異分野連携論 異分野実践研修									
			兼任	講師	中内 祐二 <令和3年4月> 博士(理学)						
					地域創生・次世代形成・多文化共生論						
兼任	助教	邵 力 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	助教	邵 力 <令和3年4月> 博士(医学)						
		先端医学特論			先端医学特論						
兼任	助教	佐藤 秀則 <令和3年4月> 博士(医科学)	兼任	助教	佐藤 秀則 <令和3年4月> 博士(医科学)						
		先端医学特論			先端医学特論						
兼任	助教	高澤 由美 <令和3年4月> 博士(学術)	兼任	助教	高澤 由美 <令和3年4月> 博士(学術)						
		技術経営学概論			技術経営学概論						
兼任	助教	JIPTNER Karolin <令和3年4月> 博士(工学)	兼任	助教	JIPTNER Karolin <令和3年4月> 博士(工学)						
		研究者としての基礎スキル Academic Skills: Scientific Presentations + Writing			研究者としての基礎スキル Academic Skills: Scientific Presentations + Writing						
兼任	助教	茄子川 恒 <令和3年4月> 博士(農学)									
		食の未来を考える									
兼任	助教	陳 奥飛 <令和3年4月> 博士(農学)	兼任	助教	陳 奥飛 <令和3年4月> 博士(農学)						
		食の未来を考える			食の未来を考える						
兼任	講師	藤野 祐一 <令和3年4月> 芸術学修士	兼任	講師	藤野 祐一 <令和3年4月> 芸術学修士						
		音楽表現特別演習(声楽)A 音楽表現特別演習(声楽)B 舞台芸術実習 室内楽特別演習(声楽)A 室内楽特別演習(声楽)B 舞台芸術特別演習A 舞台芸術特別演習B			音楽表現特別演習(声楽)A 音楽表現特別演習(声楽)B 舞台芸術実習 室内楽特別演習(声楽)A 室内楽特別演習(声楽)B 舞台芸術特別演習A 舞台芸術特別演習B						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	生地 新 <令和3年4月> 医学博士 精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	兼任	講師	生地 新 <令和3年4月> 医学博士 精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)						
兼任	講師	塚原 康子 <令和3年4月> 博士(音楽) 伝統音楽特論	兼任	講師	塚原 康子 <令和3年4月> 博士(音楽) 伝統音楽特論						
			兼任	講師	阿部 敏哉 <令和3年4月> 博士(経営学) 経営組織論特論						
兼任	講師	伊藤 洋子 <令和3年4月> 社会学修士 臨床心理実習A(心理実践実習A) 臨床心理実習B	兼任	講師	伊藤 洋子 <令和3年4月> 社会学修士 臨床心理実習A(心理実践実習A) 臨床心理実習B						
兼任	講師	小塩 さとみ <令和3年4月> 博士(人文科学) 総合音楽学特論	兼任	講師	小塩 さとみ <令和3年4月> 博士(人文科学) 総合音楽学特論						
兼任	講師	宮本 友弘 <令和3年4月> 博士(教育情報学) 心理学特別演習(統計)	兼任	講師	宮本 友弘 <令和3年4月> 博士(教育情報学) 心理学特別演習(統計)						
兼任	講師	井上 直樹 <令和3年4月> 高等学校卒 音楽表現特別演習(管弦打)A 音楽表現特別演習(管弦打)B	兼任	講師	井上 直樹 <令和3年4月> 高等学校卒 音楽表現特別演習(管弦打)A 音楽表現特別演習(管弦打)B						
兼任	講師	西野 毅史 <令和3年4月> 修士(社会福祉学) デザイン方法特論 デザイン表現特別演習	兼任	講師	西野 毅史 <令和3年4月> 修士(社会福祉学) デザイン方法特論 デザイン表現特別演習						
兼任	講師	名和 界子 <令和3年4月> 博士(人間学) 投影法特論	兼任	講師	名和 界子 <令和3年4月> 博士(人間学) 投影法特論						
			兼任	講師	尻無濱 芳樹 <令和3年4月> 博士(工学) 管理会計特論						

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・昇任のため、今村真央、中村篤志、坂本直樹の職名を「准教授」から「教授」に変更。
- ・昇任のため、柴田聡、諸田博昭の職名を「講師」から「准教授」に変更。
- ・教育課程充実のため、渡辺文生教授の担当授業科目に「地域創生・次世代形成・多文化共生論」を追加。
- ・担当教員の見直しのため、大喜直彦教授、三上英司教授、山田浩久教授の担当授業科目「社会文化創造論Ⅱ」を削除。
- ・教育課程充実のため、渡辺文生教授、笹瀬雅史教授、佐藤宏平教授、吉原元子准教授の担当授業科目に「社会文化創造論Ⅱ」を追加。
- ・阿部未央教授辞任により、兼任となり、引き続き授業担当。担当授業科目から「企業システム特別演習」「企業システム特別研究Ⅰ」「企業システム特別研究Ⅱ」を削除。
- ・池田英治准教授辞任により、兼任となり、引き続き授業担当。担当授業科目から「文化コーディネート実習(スポーツ)」「地域スポーツ実践特別演習」「スポーツ科学特別研究Ⅰ」「スポーツ科学特別研究Ⅱ」を削除。
- ・教育課程充実のため、関口雄一准教授の担当授業科目に「心理学実践実習基礎」「心理実践実習B」「心理実践実習C」「心理実践実習D」を追加。
- ・令和3年4月柿並良准教授就任により、担当授業科目「ヨーロッパ思想史特論」「ヨーロッパ思想史特別演習」を追加。
- ・教育課程充実のため、柴田聡准教授の担当授業科目に「データサイエンス」「企業システム特別研究Ⅰ」「企業システム特別研究Ⅱ」を追加。
- ・教育課程充実のため、諸田博昭准教授の担当授業科目に「歴史文化学特別研究Ⅰ」「歴史文化学特別研究Ⅱ」を追加。
- ・教育課程充実のため、河合輝久講師の担当授業科目に「心理学実践実習基礎」「心理実践実習B」「心理実践実習C」「心理実践実習D」を追加。
- ・臼杵毅教授(兼任)就任辞退により担当授業科目「地域創生・次世代形成・多文化共生論」を崎山博史教授(兼任)、滝澤匡准教授(兼任)、中内祐二講師(兼任)に変更。
- ・教育課程充実のため、渡辺昌規教授を「食の未来を考える」の担当教員に追加。
- ・教育課程充実のため、ロベス ラリー教授を「データサイエンス」の担当教員に追加。
- ・教員配置の見直しのため、茄子川恒助教の「食の未来を考える」の担当なし。
- ・教育課程充実のため、群司修一教授を「データサイエンス」の担当教員に追加。
- ・教員配置の見直しのため、中島健介教授は「技術経営学概論」の担当なし。
- ・教員配置の見直しのため、古澤宏幸教授は「データサイエンス」の担当なし。
- ・教員配置の見直しのため、関口雄一准教授は「研究者としての基礎スキル」の担当なし。
- ・教員配置の見直しのため、永石尚也講師は「異分野連携論」「異分野実践研修」の担当なし。
- ・附帯事項指摘対応のため、阿部敏哉講師(兼任)の担当授業科目に「経営組織論特論」を追加、尻無濱芳崇講師(兼任)の担当授業科目に「管理会計特論」を追加。

【令和4年度】

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A/C教員審査)を受けてください。**A/C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(A/C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
5 名	4 名	5 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
52	40	7	0	99	0	56	39	5	0	100	0
(56)	(39)	(5)	(0)	(100)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
83	16	0				83	17	0			
(83)	(17)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
54	39	5	0	98	0	54	39	6	0	99	0
[2]	[Δ1]	[Δ2]	[0]	[Δ1]	[0]	[2]	[Δ1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
81	17	0				81	18	0			
[Δ2]	[1]	[0]				[Δ2]	[2]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定 年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員のう ち、定年を延長して 採用している教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長して 採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{98}{99} = \boxed{98.98} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{100} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	阿部 未央	R3.3	選択	雇用関係法特論	②	R3.3.31付け自己都合(他大学へ転出)のため辞任(3)			
				選択	雇用関係法特別演習	②				
				選択	企業システム特別演習	①				
				選択	企業システム特別研究Ⅰ	①				
				選択	企業システム特別研究Ⅱ	①				
2	准教授	池田 英治	R3.3	選択	コーチング学特論	②	R3.3.31付け自己都合(他大学へ転出)のため辞任(3)			
				選択	コーチング学特別演習	②				
				選択	文化コーディネーター実習(スポーツ)	①				
				選択	地域スポーツ実践特別演習	①				
				選択	スポーツ心理学特論	②				
				選択	スポーツ心理学特別演習	②				
				選択	スポーツ科学特別研究Ⅰ	①				
				選択	スポーツ科学特別研究Ⅱ	①				
				合計(D)	就任を辞退した教員数			担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	13	科目	選択	7	科目	選択	6	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	13	科目	計	7	科目	計	6	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計(F)		辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計(D)+(F)		後任補充状況の集計(E)+(G)								
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)	①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)						
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	13	科目	選択	7	科目	選択	6	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	13	科目	計	7	科目	計	6	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{2}{99} = 2.02\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

□人

(注)・(3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注)・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任担当教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

非常勤講師として授業を担当するため、学生の履修等への影響はない。
 学生への周知は、時間割表及び掲示で行う。

- (注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況	今後の の実施計画
<p>認 可 時</p> <p>(令和2年)</p>	<p>企業経営に関する科目について、分野が限られており、内容が比較的实践よりも理論に比重が置かれたものとなっているため、「地域的な展開を実践できる人材」の養成が担保されるのか不明瞭である。この点を踏まえ、養成する人物像及び修了後の進路と照らしあわせて教育課程が整合するよう努めること。</p>	<p>遵守事項</p>	<p>養成する人材像と教育課程の整合性を図るため、社会文化システムコース・社会システムプログラムに以下の2科目を開設した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「経営組織論特論」：組織や人的資源管理の意義や課題を学び、企業経営に携わるために必要な能力を養身に付ける。(添付資料1：シラバス「経営組織論特論」) ・「管理会計特論」：自社の経営状況を客観的に把握・評価し、売上や原価の管理方法を体系的に学ぶことを通じて適切な経営判断ができる力を身に付ける。(添付資料2：シラバス「管理会計特論」) 	<p>履行済</p>
<p>認 可 時</p> <p>(令和2年)</p>	<p>審査意見5に関して、指導教員の選出プロセスや学際性の確保については十分理解したが、「複数・異分野連携指導体制」がどのような運用面・制度面での工夫によって十分な実効性をもつのか不明瞭であるため、実施にあたっては制度が形骸化しないような種々の工夫を講じることが望ましい。 (助言事項)</p>	<p>改善事項</p>	<p>「社会文化創造研究科の副指導教員の役割に関する申合せ」(添付資料3)を策定し、専門的関連性の高い副指導教員、他コースから選出された指導教員それぞれの学生指導上の役割(必須事項を含む)を明確にした。</p> <p>他コースの指導教員の選出にあたっては、学生に第3希望までを届けてもらうことにした。このことよって、学生の意向が尊重されるとともに、特定の分野の教員に副指導教員が集中することが回避され、研究科の教員全体で学際的な指導を行う体制が確保された。</p>	<p>履行済</p>

<p>認可時</p> <p>(令和2年)</p>	<p>学外実習が教員の過度な負担とならないことの理由として「山形県公認心理師・臨床心理士協会との連携協定」を挙げているが、その理由について、連携協定の内容も含めて具体的に説明することが望ましい。 (助言事項)</p>	<p>改善事項</p>	<p>山形県公認心理師・臨床心理士協会との連携協定には、連携事項として「講演会や心理臨床セミナー、学部学生・大学院学生の実習など、共同で実施する事業の企画、調整及び推進に関すること」が掲げられている。協会事務局は本学心理教育相談室に置かれており、協会役員や会員である実習先の担当者との連絡調整がスムーズにできている。各施設との連絡は、年度ごとに、専任教員および客員教員が各施設の実習担当者と行き、実習予定学生数、実習時期、実習内容等について事前に十分に打ち合わせをしており、教員の負担とならないように調整がされている。加えて、実習開始前に、学生と担当教員が施設を訪問し、実習内容や実習にあたっての留意点（実習計画、心構え、服装、事前準備物等）について説明を受ける機会を設けている。なお、実習施設は教員・学生双方の負担を軽減するため、本学から車で1時間以内の施設を選定している。</p>	<p>履行済</p>	

--	--	--	--	--

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<社会文化創造研究科 社会文化創造専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
※該当なし	※該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

※該当なし
① 実施体制
a 委員会の設置状況
b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
c 委員会の審議事項等
② 実施状況
a 実施内容
b 実施方法
c 開催状況（教員の参加状況含む）
d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
a 実施の有無及び実施時期
b 教員や学生への公開状況、方法等

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

※該当なし

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 設置の趣旨・目的を達成するため、計画どおり実施している。引き続き、大学院教育の更なる資質向上を図り、設置の趣旨・目的を達成していくこととしている。</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期 ・未定</p> <p>b 公表方法 ・大学ホームページ上に公開</p> <p>③ 認証評価を受ける計画 ・令和8年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で検討中</p>
--

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）</p> <p>a 公表予定の有無 [<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無]</p> <p>≪ a で「有」の場合 ≫</p> <p>b 公表（予定）時期 [<input checked="" type="radio"/> 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ <input type="radio"/> 公表後2～3ヶ月以内 ・ <input type="radio"/> 公表後3ヶ月以降]</p> <p>c 公表方法 [<input checked="" type="radio"/> ウェブサイトへの掲載 ・ <input type="radio"/> その他 ()]</p> <p>≪ a で公表「無」の場合 ≫</p> <p>d 公表しない理由 []</p>
--

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

経営組織論特論

Organization Theory

資料 1

担当教員：阿部 敏哉(ABE Toshiya)

担当教員の所属：人文社会科学部非常勤講師

担当教員の実務経験の有無：有

担当教員の実務経験の内容（有の場合）：メガバンクで融資業務を担当し、企業の経営状況の分析等を行った経験を生かして、総合的に組織を把握できる視座について講義する。

開講学年：1年,2年 開講学期：前期 単位数：2 開講形態：集中講義

【授業の目的】

組織についての基本的な考え方を身につけるため、近代組織論の基本的な考え方を踏まえ、総合的に組織を把握できるようにすることを目的とする。

【授業の到達目標】

我々の周囲にある様々な組織を理論的に分析し、その組織が直面している様々な問題に対して独自の視点で考えられる。

【授業概要（キーワード）】

協働，組織，発展

【学生主体型授業（アクティブラーニング）について】

A-2. 小レポート等により、事前学習（下調べ、調査等含む）が必要な知識の上に思考力を問う形での文章を記述する機会がある。：26～50%

B-2. 事前学習（下調べ、調査等含む）をした上で、他の学生の意見を尊重しつつグループとしての結論を出すために議論をする機会がある。：26～50%

C-2. 事前学習（下調べ、調査等含む）をした上で、プレゼンテーションを行い、互いに質疑応答や議論を行う機会がある。：26～50%

【科目の位置付け】

この授業は、企業等が直面するさまざまな問題について、組織の観点から論理的に分析し、解決策を提案する力を身につけるために編成される科目である。

【授業計画】

・授業の方法

教科書の精読を中心に講義を進め、各回の授業で配布するレジュメなども併用しながら授業を進めます。

・日程

- 第1回 本講義の目的意識
- 第2回 人間協働
- 第3回 公式組織
- 第4回 複合公式組織
- 第5回 組織と管理
- 第6回 組織とオーソリティ
- 第7回 組織とコミュニケーション
- 第8回 組織と意思決定
- 第9回 組織と誘因
- 第10回 組織均衡
- 第11回 組織と責任
- 第12回 組織と戦略
- 第13回 組織能力
- 第14回 発展する組織の条件
- 第15回 まとめ

【学習の方法・準備学修に必要な学修時間の目安】

・受講のあり方

毎回最初に教員が基本的な事項について講義を行った後、各自予習した内容について内容を発表できるようにしてください。また、発表者以外の方は積極的に質問するよう心掛けてください。

・授業時間外学習（予習・復習）のアドバイス

各回の授業において、予習レポートを課します。課題に沿って、レポート用紙1、2枚にまとめて提出できるよう、毎回、しっかり準備してください。また、個人レポート課題の提出に向けて、必要な文献を読んでください。

【成績の評価】

・基準

授業の到達目標で示した内容について、授業をとおして得られた知識や経験に基づいて主体的に考察し、論述できることが合格の基準です。

・方法

講義への取り組みと、話し合いへの参加状況を踏まえて総合的に判断します。

【テキスト・参考書】

C. I. バーナード著、飯野春樹他訳『新訳 経営者の役割』ダイヤモンド社

【その他】

・学生へのメッセージ

毎回の講義の理解に加え、自学自習によって教科書をマスターする姿勢が大切です。この講義を受講することで、身近な組織の見方が大きく変わる驚きを体験して欲しいと思います。

・オフィス・アワー

集中講義のため、期間中随時オフィスアワーを設けます。

担当教員：尻無濱 芳崇(SHIRINASHIHAMA Yoshitaka)

担当教員の所属：人文社会科学部非常勤講師

担当教員の実務経験の有無：無

開講学年：1年,2年 開講学期：前期 単位数：2 開講形態：集中講義

【授業の目的】

学生が管理会計についての基本的な知識を身につけ、管理会計情報を解釈し利用できるようになることを目指す。

【授業の到達目標】

- ・基本的な原価計算をすることができる。
- ・会計情報を用いた意思決定をすることができる。
- ・会計情報を用いた分権的組織の管理の方法を説明できる。

【授業概要(キーワード)】

管理会計とは、企業の経営管理者が自らの組織をコントロールし、適切な意思決定を行うために活用する、経営管理者のための会計です。この講義では、受講者が管理会計の基礎的な内容を学び、活用できるようになることを目指します。

キーワード：管理会計、原価計算、予算管理、責任会計、業績評価

【学生主体型授業(アクティブラーニング)について】

A-2. 小レポート等により、事前学習(下調べ、調査等含む)が必要な知識の上に思考力を問う形での文章を記述する機会がある。：51～75%

C-2. 事前学習(下調べ、調査等含む)をした上で、プレゼンテーションを行い、互いに質疑応答や議論を行う機会がある。：51～75%

【科目の位置付け】

本科目は企業システム(教育研究分野)、企業経営領域(教育研究領域)の科目の一つです。本科目と、社会文化システム専攻のカリキュラムポリシー、ディプロマポリシーとの関係については履修の手引きを参照してください。

【授業計画】

・授業の方法

テキストの輪読、ディスカッションを中心に行う。初回に発表の担当を割り振る。担当者はテキストをあらかじめ精読し、内容をまとめた資料を使って口頭発表を行う。

・日程

- ・管理会計における基本概念(計画、コントロール、意思決定、変動費・固定費、直接費・間接費など)、個別原価計算について学びます。
- ・CVP分析と総合原価計算について学びます。
- ・意思決定における原価情報の利用、価格決定、顧客収益性分析について学びます。
- ・年度予算編成とその管理、標準原価管理について学びます。
- ・分権化と業績評価について学びます。

【学習の方法・準備学修に必要な学修時間の目安】

・受講のあり方

自分の担当回はもちろん、自分の担当回以外でも積極的に議論に参加することを期待する。担当回では、複数の論点を提示すること。

・授業時間外学習(予習・復習)のアドバイス

予習を前提に講義をすすめるため、予習をし質問を考えておく。

【成績の評価】

・基準

管理会計の基本的な手法の概要を説明できることが合格の基準です。報告資料・期末レポートの内容・構成、ディスカッションへの参加などを見てそれを判断します。

・方法

毎回の報告資料(50%)とディスカッションへの参加度(25%)、期末レポート(25%)で評価します。

【テキスト・参考書】

テキスト

ワシントン大学フォスタービジネススクール管理会計研究会(2015)『新版:管理会計のエッセンス』同文館出版

参考書

ロバート・サイモンズ著、伊藤邦雄監訳(2003)『戦略評価の経営学:戦略の実行を支える業績評価と会計システム』ダイヤモンド社

Datar and Rajan. 2017. Horngren's Cost Accounting: A Managerial Emphasis, Global Edition.

Merchant and Van der Stede. 2017. Management Control System, 4th ed

【その他】

・学生へのメッセージ

管理会計を大学院で初めて学ぶ人もいるかと思いますが。テキストの予習等で積極的に事前学習をしておくと、理解が深まります。

・オフィス・アワー

授業に関する学生からの質問対応方法等については、授業初回に提示する。

社会文化創造研究科の副指導教員の役割に関する申し合わせ

令和3年3月22日制定

I 主指導教員と同じ、または、専門的関連性の強い分野の副指導教員の場合

1. 「最低限」の定期的指導として、指導学生の学位論文（特定の課題についての研究成果も含む）に関する手続きの際、及び、学位論文中間報告会などにおいて助言を行う。
2. 主指導教員が何らかの事情（病気、事故等）で指導が困難になったとき、代行で学位論文等の指導を行う。
3. 主指導教員と学生の間で問題が生じたときは仲介役となり、場合によっては、主指導教員に代わって学位論文等の指導を行う。

II 他コースから選出された副指導教員の場合

1. 「最低限」の定期的指導として、指導学生の学位論文（特定の課題についての研究成果も含む）に関する手続きの際、及び、学位論文中間報告会などにおいて助言を行う。
2. 主指導教員と学生の間で問題が生じたときは、もう1名の副指導教員とともに仲介役となる。

この申し合わせは令和3年4月1日から施行する。